

freebitの

これから、

ここから

ステークホルダーの皆様へ

社会は課題に溢れており、環境問題への対応など地球規模での視点と取り組みが必要な状態が続いています。

仕組みで変えていく、制度で変えていく、様々なプレイヤーが世界中で社会課題の解決に取り組む中、私たちフリービットグループはweb3技術こそがその鍵だと捉えています。

人々の暮らし方、生き方にまでつながるような転換を。web3がもたらす社会像を描きながら、私たちは日常への実装を行っていきます。

本レポートでは、フリービットグループがどのような戦略のもとで新しい価値を生み出し、未来社会に貢献していくかをお伝えします。

報告対象範囲

フリービット株式会社及びグループ会社

報告対象期間

主な報告対象は、原則として2024年4月期（2023年5月～2024年4月）における実績です。一部、当該期間以前もしくは以後の活動や見直しについても掲載しています。

見直しに関する注意事項

本レポートに記載されている将来に関する記述は、資料作成時点において当社が入手している情報に基づき策定しているため、リスクや不確実性を含んでおり、当社がその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、経済環境の変化や提供するサービスの動向等の様々な要因により、将来の見直し等と異なる場合があります。



目次

イントロダクション

freebit groupの企業理念体系	4
freebit groupの価値創造モデル	5
「信用の所在地」- 通信生まれのweb3実装企業へ	6

第一章 freebit groupがweb3で描く未来像とは

Webの歴史とweb3	7
今後のweb3経済市場	8
web3と「Trusted Web」	9
web3におけるfreebit groupの強み	10
CEO/CTOメッセージ	11-12

第二章 freebit groupはどうweb3を社会に実装していくのか

「通信生まれのweb3実装企業」に向けたロードマップ	13
中期経営計画『SiLK VISION 2024』（2021/5～2024/4）の振り返り	14
中期経営計画『SiLK VISION 2027』（2024/5～2027/4）の概要	15
中期経営計画『SiLK VISION 2027』における成長戦略	16
中期経営計画『SiLK VISION 2027』における成長戦略 - グループ企業連携	17
中期経営計画『SiLK VISION 2027』における財務戦略	18
中期経営計画『SiLK VISION 2027』における企業価値向上	19
ステークホルダー資本主義の実現 - One Vision	20-21
web3実装を支える人的資本経営	22
web3実装を支える人的資本経営 - CHROインタビュー	23
web3実装を支える人的資本経営 - 多様な視点を取り入れるために	24
web3実装を支える人的資本経営 - 高い専門性のために	25

第三章 freebitのこれまでと、現在地

freebit groupの歩み	26
数字で見るfreebit group	27
各事業セグメントの紹介	28-31
サステナビリティ基本方針とマテリアリティ	32
freebit groupのESG経営	33-38
財務/非財務ハイライト	39

会社概要/株式情報

Appendix web3社会実装の事例	41-43
----------------------	-------

インターネットが 本来目指していた姿。 そこをもとに、 社会課題の解決を。

非中央集権化の仕組み、分散型プラットフォームづくり、それによる個人としての力の最大化、それらは本来インターネットが目指していたものでした。

技術的な課題によりWeb1.0、Web2.0という流れが生まれましたが、私たちはWebというものが持つ基本的な思想をぶらさず、個人を中心とした社会のあり方を進めていきます。

それにより、複雑で困難な社会課題に対し、個人が参加し支え合うことで解決に向かえるよう協調の輪を広げていきます。



Purpose
(why we exist)

Being The NET Frontier!

～ Internetをひろげ、社会に貢献する ～

Identity
(who we are)

Smart Infra提供事業

通信生まれのweb3実装企業

～ Platform Maker ～

Direction
(where we are headed)

free you a bit

～あなたを少しだけ自由にする～

空間 / 時間からの自由 価値観 / 可能性の自由 身体からの自由 … “夢見る自由”

Key Drivers

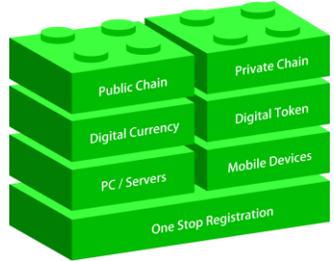
マインド指針 / 行動指針

Building Blocks (freebit web3 Blocks / StandAlone Building Blocks)
freebit Frameworks

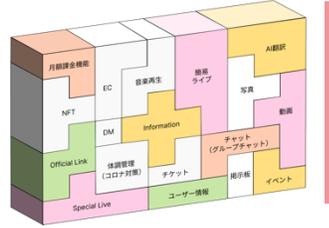
freebit groupの価値創造モデル

独自開発の技術

freebit web3 Blocks



StandAlone Building Blocks

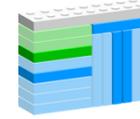


Building Blocks



- 特許取得技術をはじめとした独自開発の技術をコンポーネント化(プログラムの部品化)
- Blockのように自由自在にコンポーネントを組み合わせることで、インフラ基盤構築・プロダクト開発・サービス提供に至るまで様々な設計が可能

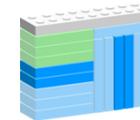
社会課題を解決



藤田医科大
PHR※アプリ



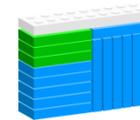
患者、医療機関、自治体が医療情報を安全かつ便利に連携することで医療のDX化を



StandAlone



クリエイター自身がプラットフォームとして独自の世界観を実現できるように



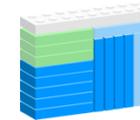
TONE

MVNO・web3

みんなに安心安全なスマートフォンを

MVNE

NTTドコモ



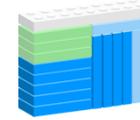
freebit
MVNO Pack

MVNO

いつでも簡単にスマートフォンが持てるように

MVNE

NTTドコモ



YourNet

ISP

誰もが手軽にインターネットを使えるように

ISP's ISP

NTT

※ PHR (パーソナルヘルスレコード) : 個人の健康や身体の情報を記録した医療データ

信用の所在地

元社外取締役 出井伸之氏 書

通信生まれの web3実装企業へ

私たちは独自開発の技術を用いてweb3実装を行い、社会課題の解決を目指していきます。非中央集権化の仕組み、ヒトとモノの分散型プラットフォームを作っていく、そのためのベースとなるのは、Trust/「信用」となります。通信やAIのトレーサビリティが問われ、約束ごとの確実な実行が求められる中、新たなTrustの仕組みをどう作っていくか。当社の元社外取締役 出井伸之氏は、いち早く「信用の所在地」というキーワードを使いました。IDとパスワードだけで管理されるという不安定な状態を超え、また検証不在というWeb2.0の根源的課題を超えていくために。

（「信用の所在地」は『SiLK VISION 2027』でも掲げているキーワードです）

SiLK VISION

2027

信用の所在地

born in the Garage

Webの歴史とweb3

1990年代中頃～2000年代中頃

2000年代中頃～現在



web3 “参加する”※

非中央集権型のインターネット（個人が主体）



Web1.0
“読む”※

一方通行のインターネット

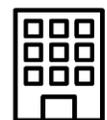
- ホームページ
- ポータルサイト
- eコマース 等



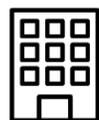
Web2.0
“書く”※

双方向のインターネット

- SNS
- ブログ
- 動画投稿サイト 等



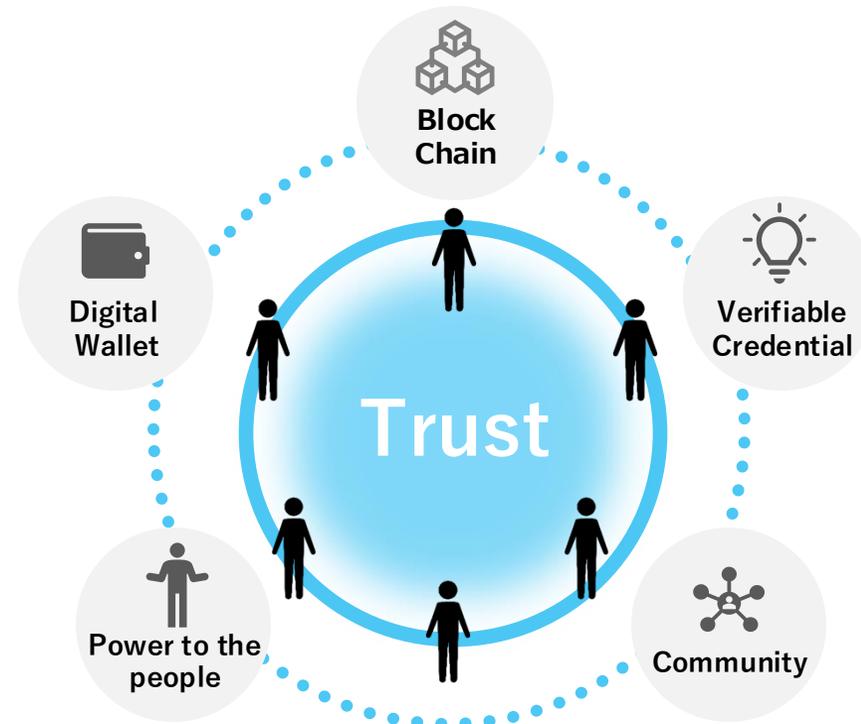
Webサービス会社



プラットフォーム

Web1.0の時代は、Web知識をもつ一部の限られた人だけが情報の発信者に成り得ました。ユーザーは与えられた情報を閲覧・取得することが中心で、情報の流れが一方通行。

Web2.0の時代では、プラットフォームの提供者が登場し、情報発信者と閲覧者双方でのコミュニケーションが可能となり、ユーザー参加型のソーシャルメディアやブログなど、インタラクティブなコンテンツが普及。



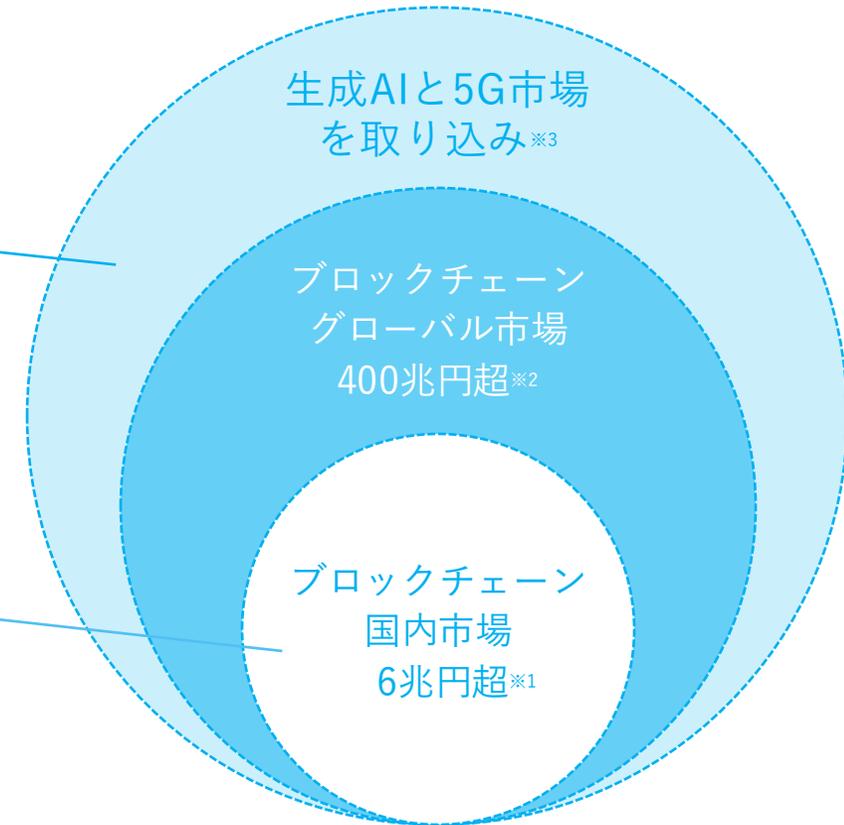
- 情報を個人が管理する世界
- コミュニティが協力し合い、誰もが参加できる公平なデジタルエコシステム
- ユーザー自身が主役となり、新たな価値を生み出すことが可能
- 社会全体をよりインクルーシブで持続可能な未来に導く

※ 出典：「テクノロジーが予測する未来」伊藤穰一著
なお、「Web1.0」「Web2.0」「Web3」は、上記出典にあわせた表記です。

今後のweb3経済市場

- 国内外でweb3進出が進むにつれ、業界の市場規模も高い成長率で拡大し続けています
- 2030年には国内市場は6兆円超に、グローバル市場は400兆円超の規模に到達すると当社は考えています
- web3は、AIや5Gの欠けているところを「補完」可能な技術。AIや5Gの市場へのアプローチもできるため、現在予測されるweb3市場よりも、さらに大きな市場規模になると当社は見込んでいます

web3市場規模イメージ（2030年予測）

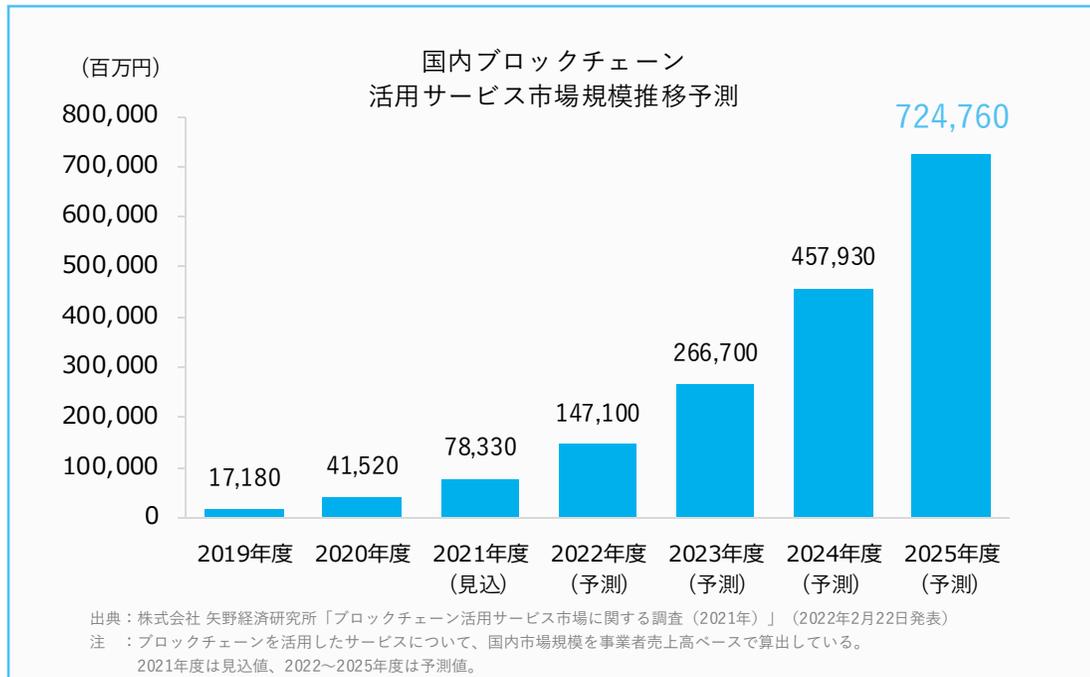


※1：株式会社矢野経済研究所「ブロックチェーン活用サービス市場に関する調査（2021年）」（2022年2月22日発表）
https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/2914 で公表された情報を参考とした当社による予測値

※2：インベスコ・アセット・マネジメント株式会社「成長著しいブロックチェーン市場と注目を集めるブロックチェーン分野」
 Gartner『Forecast: Blockchain Business Value, Worldwide, 2017-2030』（2017年3月）より引用
<https://www.invesco.com/jp/ia/individual-investor/funds/featured-funds/block-chain/block-chain-report/block-chain-report-2022-feb.html>
 なお、株式会社帝国データバンクの「企業の想定為替レートに関する動向調査（2024年度）」による企業の想定為替レート
 平均140円88銭にて再換算

※3：「総務省：令和6年版 情報通信白書」より引用（<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ia/r06/pdf/n2190000.pdf>）及び
 各種公表された情報を参考として当社にて算出した予測値

世界の生成AIの市場規模：130兆円超
 国内のローカル5Gソリューション市場規模：600億円



web3と「Trusted Web」



日本政府も提唱する「Trusted Web」構想において信頼性と非中央集権化はカギであり、まさにweb3が担う領域

フリービットグループが掲げる「信用」をベースとしたweb3戦略は、日本政府の方針とも合致

Trusted Webとは

- 特定のサービスに過度に依存せずに、データの検証及びそのデータのやり取りを検証できる領域を拡大し、Trust (信頼) を向上する仕組みを指します
- インターネットやWebにおけるアイデンティティ (ID) 管理のあり方に重点を置いており、web3で議論されている分散システムや分散台帳技術などを組み合わせることで、「Trust」のレベルを高めたデジタル社会のインフラ構築を目指しています
- Trusted Web推進協議会（座長：村井純 慶應義塾大学 教授）が設立されています

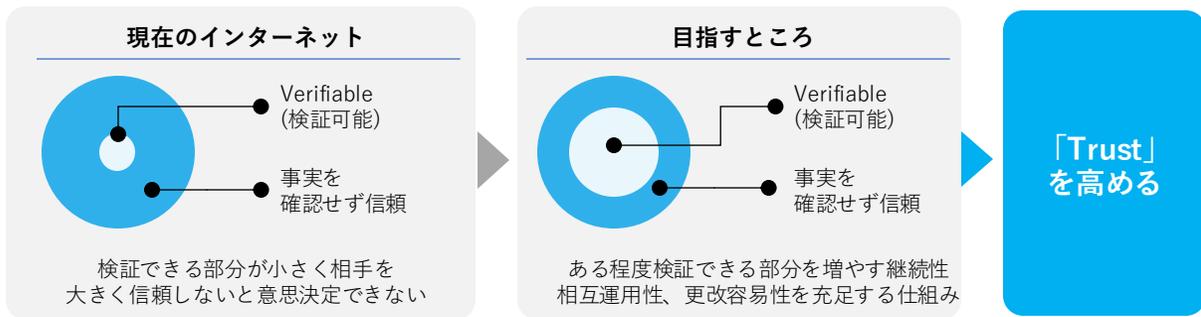
関係する主な行政機関 | 内閣官房、デジタル庁、経済産業省、総務省

直面している課題

- 偽情報やフェイク動画が増えてきて、何を信頼して良いかわからない
- 住民票とか本人確認書類とか、手続きでよく使うものをオンラインで簡単に取れて、手続きで使えると便利なのに
- 温暖化対策で取引先にCO2データを渡さなきゃだけど、他の目的で使われないか不安
- ウェアラブルデータを使って、医療や科学の発展に貢献したいけど、どこが信頼できるのかな
- 不正防止のため、本人確認したいけど、確認コストが高くなって、安価にサービス提供できなくなってしまう
- 必要なIDとパスワードが多すぎ。A社アカウントで、B社サイトにサインインできるけど、私の情報がどこまで共有されているのか心配

共通する課題

- ① やり取りされるデータが信頼できるか
- ② データをやり取りする相手方を信頼できるか
- ③ 提供したデータの相手方における取扱いを信頼できるか



Trusted Webによってできるようになること

- 特定のサービスのアカウントではなく、自らのアカウントによって、様々なWebサービスが使えるようになる
- 信頼の証明が多様になる



web3におけるfreebit groupの強み

Web2.0とweb3のハイブリッドによるweb3の社会実装を推進し、ユースケースの拡大へ

- web3が大きく広がっていない理由の一つに、「まだユースケースが少なく、web3を体感する機会が限られるため理解が難しい」という点が挙げられます
- フリービットグループは、web3の各技術をBlock化した「freebit web3 Blocks」とこれまで培ってきた独自技術により、web3社会実装への課題をWeb2.0とweb3のハイブリッドで解決に導きます
- web3のユースケース拡大を図り、web3実装企業への転換を推進していきます

web3社会実装への課題

流通価値に見合うノード数を達成していない

ノードの運営者が分散していない

マイニングのための環境負荷が高い (PoW)

処理速度が遅い

一般ユーザーが利用するまでの敷居が高い

ノード運営者のインセンティブとなる暗号資産のボラティリティが高い

課題解決につながるweb3技術

freebit web3 Blocks
(Powered by CountUp)

Public Chain

Private Chain

Digital Currency

Digital Token

PC / Servers

Mobile Devices

One Stop Registration

…etc.

- コミュニティに適応した形で、新しいレイヤー1ブロックチェーンを作り出すことが可能
- ノードは、スマートフォンで非中央集権化を実現
- スマートフォンの余剰リソースの活用で環境負荷低減
- ボラティリティ無し

freebitの独自技術による丁寧なweb3社会実装・事例

1

TONE Coin

ノード数世界第3位規模^{*1}のレイヤ1 Blockchain

- 充電中にプログラムを動かすだけでポイントが貯まる新しいポイントシステム「TONE Coin」、トーンモバイルユーザー向けにモバイルブロックチェーンのシーリング報酬としては初めて「リアル価値交換」を開始
- 毎月のトーンモバイルの利用料金に対し、「1 TONE Coin」あたり100円分（2024年2月1日現在）に充当することが可能

TONE Coin

顧客 (TONE契約者)

※開始当初は「1 TONE Coin」をTONEの利用料金100円分に充当予定

TONE Chain

世界第3位規模^{*1}のL1 Blockchain

freebit web3 Blocks (Powered by CountUp)

P.21

2

株主DAO

世界初^{*2}の株主向けweb3スターターキット

- web3による新しい株主還元策「フリービット株主DAO」の提供を株主様へ開始
- 株主様ご自身のスマートフォンでブロックチェーンが動作するようになる「フリービット株主DAO」アプリを通して、当社が開発した独自ブロックチェーン「TONE Chain」のシーリングへの参加や、株主様同士やフリービットの経営陣、IR担当者と直接交流できる株主専用掲示板への参加が可能になる

フリービット株主DAOスタート！～web3時代の新しい株主還元～

P.21

3

藤田医科大学病院との共同研究開発プロジェクト
日本政府「Trusted web」x 医療DX x マイナンバーカード

- 政府が推進する「医療DX」と「Trusted Web構想」に基づくヘルスケアデータの管理・活用及びマイナンバーカードをトラストアンカーとした共通IDに関する共同事業、各病院や研究機関、国、自治体などへの技術提供の検討を開始
- フリービット独自のL1ブロックチェーン技術を活用した非中央集権型セキュリティを加えたシステムを利用するヘルスケアデータなどの管理・活用分野や、マイナンバーカードをトラストアンカーとする認証基盤の運用などにおいて、トーンモバイルを通して培ってきた、個人健康記録(Personal Health Record) 管理領域の技術でも密連携を行い、各病院や研究機関、国及び自治体などに幅広く技術提供を行うことを目指す

藤田医科大学
FUJITA HEALTH UNIVERSITY

×

freebit
毎日、発明する会社

P.42

^{*1} ノード数が世界第3位規模
ノード数とは、ブロックチェーンのネットワークに参加しているPCや情報端末の台数で、ノードは、ブロックチェーンの情報を受け取り、検証し、伝達する役割を担っています。ランキングについては、2024年9月時点のインターネット上において公表されているブロックチェーンのノード発表数における当社調べです。各ブロックチェーンのノード数は、日々変動します。

^{*2} 世界初の株主向けweb3スターターキット
2024年7月時点の当社調べです。

Integrated report 2024 10

CEO/CTOメッセージ

我々のPurpose、我々はなぜ存在するのか？ ～なぜ今「信用の所在地」なのか～



代表取締役社長 CEO 兼 CTO
デジタルアーキテクト

石田 宏樹

2017年5月6日、長年フリービットの社外取締役を務めていただいていたソニー元会長、出井伸之氏の別荘で2人で合宿をし、「これからの将来はどうなるんだろう？」「何が大切になっていくんだろう？」と議論を交わしました。その時に出井氏が目の前のメモに書かれた言葉、「**信用の所在地**」。これが『**SiLK VISION**』の10カ年計画におけるすべてのスタートになっています。

誰もがインターネットを活用する世の中において、昨今では、市場占有率、ブランド価値、時価総額などすべてが**中央集権型プラットフォーム**であるGAFAへ力が集まる**「集中化」**が起こっており、個人情報やプライバシーへの不安、不公平な富の配分、クリック・タップしやすい記事やニュースばかりが自分の周りに集まってくる**「広告重視のフィルターバブル」**などにより、人間の意

思決定が徐々に変化し、操作されているような時代になっています。

出井氏との合宿とほぼ同時期、2017年に発行されたユヴァル・ノア・ハラリの著書「ホモ・デウス」には、人類は、人類にとって一番の課題とされてきた**「疫病」「戦争」「飢餓」**を克服しつつあると書かれていました。しかし、『SiLK VISION』の10カ年計画の初頭である2020年から今日までのたった4年間で、世界的なパンデミックやウクライナ侵攻、紛争や異常気象による飢餓の拡大など、人類が長い時間をかけて克服しつつあったこれら3つがすべて起きてしまったのです。ハラリ氏は、これらの課題を根本的に解決するには、**「科学技術の進歩」「国際協力とグローバルガバナンス」「データとAIの利用」「社会的意識と倫理的枠組み」「経済的な安定と教育」**をきちんと進めていかねばならないと書いています。これからは、国や機関、技術に対する信用、通信やAIのトレーサビリティ、約束事などの確実な実行が求められてくるということです。

まさに2017年の出井氏のメモの通り、「**信用(Trust)**」が重要になってくるのです。

「**信用**」をテクノロジーで担保することが使命

私たちは、フリービットのパーパスである「Being The NET

Frontier!」という理念のもと、創業以来一貫して、**インターネットがそもそも持っている特徴である「非中央集権化」のインフラをいかに作っていくかに専念してきました。**インターネットはこれまで、「信用」というファンクションをプロトコルとして持っていませんでしたが、このような時代において、**非中央集権型のネットワークにおける「信用」をテクノロジーで担保**することが、今の私たちの使命だと考えます。

『SiLK VISION 2024』の期間中、私たちが「Trusted Internet」と言っていたものは、現在、日本政府によって**「Trusted Web」**という言葉にバージョンアップしています。日本政府が提唱する「Trusted Web」は、**新たな信頼の仕組みが新たな価値**を創出していくというもので、現在のWeb2.0の世界にはそれが不足しています。**web3の世界**では、「その人が本当に本人なのか？」「データ自体が本当に信頼できるものなのか？」というような検証された領域を極限まで広げていき、それによって、**検証、確認しなくても信用できる領域を作っていきます。**私たちフリービットグループは、Web2.0からweb3への転換に備え、『SiLK VISION 2024』までの間に、「通信生まれ」の企業として、多くのシードを作り出してきました。5Gインフラ支援事業では、より幅広くスタートアップ企業等の課題を解決するべく、直販システムの構築や新規サー

ビスを続々とスタートし、B2B販売プラットフォームの準備を進めています。「トーンモバイル」では、**あらゆるIoT機器で「TONE」の様々なサービスが動作するようになる「TONE IN」戦略**を開始、培ってきた独自サービスをより柔軟に広げる体制を整えつつあります。ギガプライズでは、みなとみらいに新たな商業施設を展開し、**5G時代のショールーム**として、5G Homestyleサービスや、アルプスアルパイン社との未来の車作りなどに関する実証実験をスタートしています。フルスピードでは、クリエイター事業への転換として、「StandAlone」プラットフォームを通して、クリエイターが自立したプラットフォームerとして活動することを支援しているほか、子会社であるクライドの技術チームの5G/web3への転換などに先行して取り組んでいます。

「信用の所在地」の追求が『SiLK VISION 2027』のビジョンです。私たちは、「通信生まれ」の企業として、**Web2.0とweb3の世界を対立軸にするのではなく、Web2.0の世界で培ってきた技術やノウハウをweb3へと丁寧に組み上げ、ハイブリッドで段階的・補完的に協調と調整**をしながら、どのように様々なモノを「Trust化」していくのかを大切に、**「信用の所在地」を社会に広げていきたいと考えています。**

CEO/CTOメッセージ

web3の実装はすでに始まっている ～“通信生まれ”のweb3実装企業へのカテゴリーチェンジ～

web3スターキットとなる「フリービット株主DAO」

フリービットが一貫して進めてきた「非中央集権化」のインフラ、そしてweb3の世界をいち早く「予感」を越えて「実感」していただき、**ステークホルダーが理念を共有し社会実装していく取り組み「One Vision」**が、株主の皆様、トーンモバイルのユーザーの皆様を中心にすでに始まっています。**世界初の「web3スターキット」**とも言える**「フリービット株主DAO」**は「One Vision」の株主様向け還元施策です。この取り組みにご参加いただくと、**理解・体験が極めて難しいといわれるweb3のほぼすべての側面が、お持ちのスマートフォンを通して簡単にフル体験いただける**ようになっています。

例えば「TONE Chain」では、株主の皆様が世界最先端のスマホシーリング(採掘)に参加することで、その貢献に対する報酬として「TONE Coin」が受け取れます。「TONE Chain」は株主様だけでなく、トーンモバイルのユーザーやフリービットの従業員も参加しており、**ノード数は現在世界第3位の規模**ですので、その倍になれば「ビットコイン」を抜きます。当社のステークホルダーが結集すれば、約100兆円近い資産を動かしているブロックチェーンノードである「ビットコイン」を抜くことができるというわけです。

また、「フリービット株主DAO」では、web3の概念で重要な

「デジタルウォレット」を、個々のスマホで所有することになります。このデジタルウォレットには、**資格情報などの様々なNFT(VC)が入る**ため、「フリービット株主DAO」にご参加いただくと、デジタルウォレットの中に「この株主様である」といった資格情報が入ることになります。こういった技術は、フリービットが長年取り組んできた「医療領域」にも実装されつつあります。日本最大の病床数を保有する藤田医科大学様とは、医療機関におけるデータ管理だけでなく、**患者さんまでもが自身の医療データをVCとして持ち歩ける**取り組みを進めています。これらは政府が進める**マイナンバー制度とも連携が可能**なものです。

また、こうしたスマートフォン上で、フリービットの技術をベースとした様々なコンポーネントを自由に組み合わせて動かす仕組みは、**「StandAlone Building Blocks」**によるもので、すでに様々なクリエイター向けに提供している技術が元になっています。web3の世界において、我々が非中央集権化された様々なプラットフォーマーを生み出す**「Platform Maker」**になっていくにあたり、**クリエイターDX**も重要な領域の一つです。IoTやモバイル技術、AIの進化により、もともと国家が持っていたような影響力は、企業がグローバルに展開する形に変遷し、今後は企業と並ぶような影響力を持つクリエイターがどんどん生まれ

てくると言われています。フリービットグループは、B2BやB2B2C/B、B2Cに対して、新しいカテゴリーである**B2C2C(Business to Creator to Consumer)**という形で、クリエイターの活動を支援するため各種管理をしやすいプラットフォームをパッケージにして提供していこうとしています。我々は、クリエイター自身がプラットフォーマーであるべきだと考えており、「StandAlone」プラットフォームでは、起業クリエイター一人ひとりが、既存のレギュレーションに縛られることなく、**自立したプラットフォーマー**として様々な活動ができるということが前提となっています。

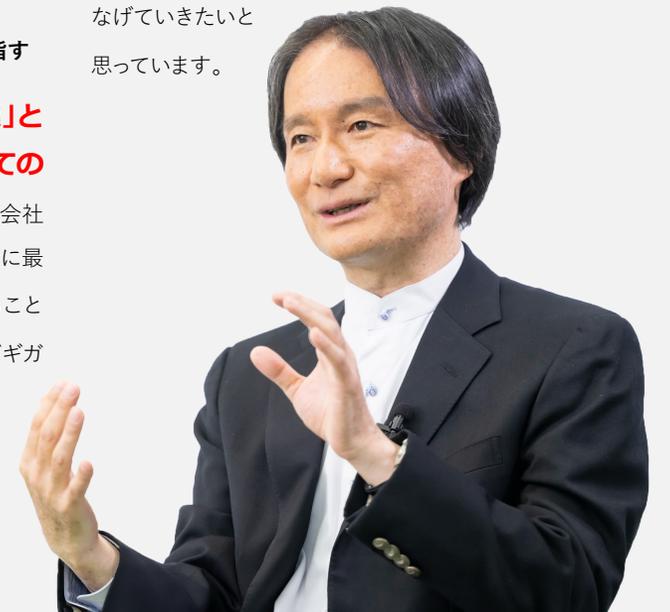
社会課題の解決を通じて、グローバルでの成長も目指す

このように、フリービットは今、**「通信インフラ事業」というカテゴリーを越えて、web3企業としての歩みを始めています**。さらにグループ会社や提携会社が保有するIoTセンシング技術やアクチュエーター技術に最新の生成AIやBlockchainなどの技術をかけ合わせることで、新たなサービスを生み出すことも可能です。例えばギガプライズが有する集合住宅向けの固定回線と、センサーやスマートフォンサービス、TONE Careなどの健康見守りサービスなどを組み合わせることで、医療費

の高騰や孤独死などといった高齢者問題を解決していくこともできます。

こうした取り組みは、高齢化先進国の日本においては輸出産業になり、フリービットによる社会課題の解決を**「made in Japan」**として**世界に広げ**、グローバル企業として成長していく足がかりともなります。

『SILK VISION 2027』において、事業的な成長はもちろん、「通信生まれ」としての経験を活かしながら、このような通信サービスにとどまらない**“通信生まれ”のweb3実装企業へとカテゴリーチェンジ**を行い、グローバルでも戦える次の『SILK VISION 2030』へとつなげていきたいと思っています。



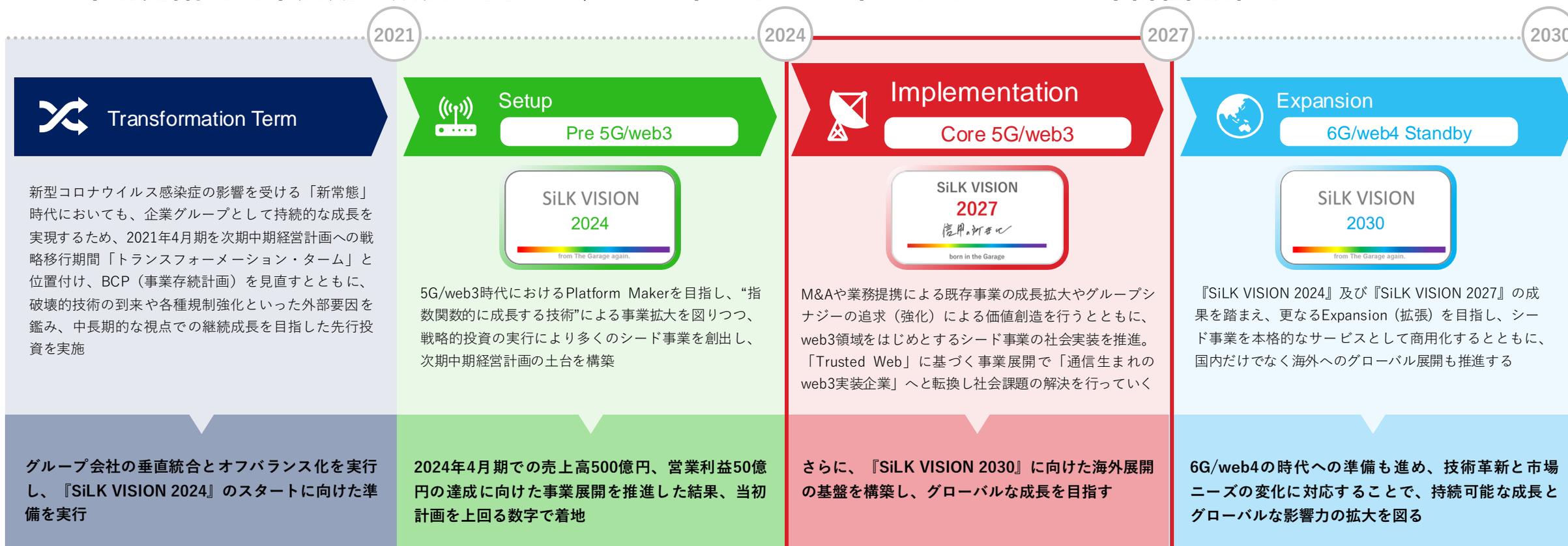
「通信生まれのweb3実装企業」に向けたロードマップ

2030年を見据えた中長期の成長ビジョン

当社グループは、地球環境、高齢化社会、知の爆発といった社会問題の解決を中期経営計画である『SiLK VISION』の根幹に位置付け、利益を追求するだけでなく、インターネットをひろげることによる社会への貢献を進めています。



2030年を見据えた中長期の成長に向けて、2021年から2030年にかけての10カ年計画を策定



中期経営計画『SiLK VISION 2024』（2021/5～2024/4）の振り返り



— 5G/web3時代に向けたSetupが完了 —

『SiLK VISION 2024』は、当社グループの10カ年計画の第1弾であり、5G/web3時代におけるPlatform MakerとしてExponential Technology“指数関数的に成長する技術”による事業の拡大を目指してまいりました。既存事業の着実な成長と、5G/web3へのシフトに向けた戦略投資といった両利きの経営を3年にわたって行ってきた結果、多くのシード事業を創出し次期中期経営計画へのSetupを完了しつつ、当初計画していた2024年4月期の目標値、売上高500億円、営業利益50億円を大きく上回る数字で着地することができました。

成長戦略と成果

**5G
インフラ
支援事業**

<戦略>

- 徹底した効率的運用により市場成長率以上の成長を目指す
- 5G/eSIM/eKYC/IP電話などの次世代技術への対応推進

<成果>

- 新規顧客開拓及び原価低減、高粗利商材の販売で売上利益増を実現
- 次世代技術への対応は順調に進捗

**5G
生活様式支
援事業**

<戦略>

- 主要KPIの達成及び原価低減
- 顧客拡大、顧客満足度向上、シェア拡大に向けた事業強化
- 新規事業の立案、実行

<成果>

- 主要KPIを達成し、売上利益増を実現
- サービス品質の向上、顧客関係深化を実現
- 新規事業のリリースを達成

**企業・
クリエイター
5GDx
支援事業**

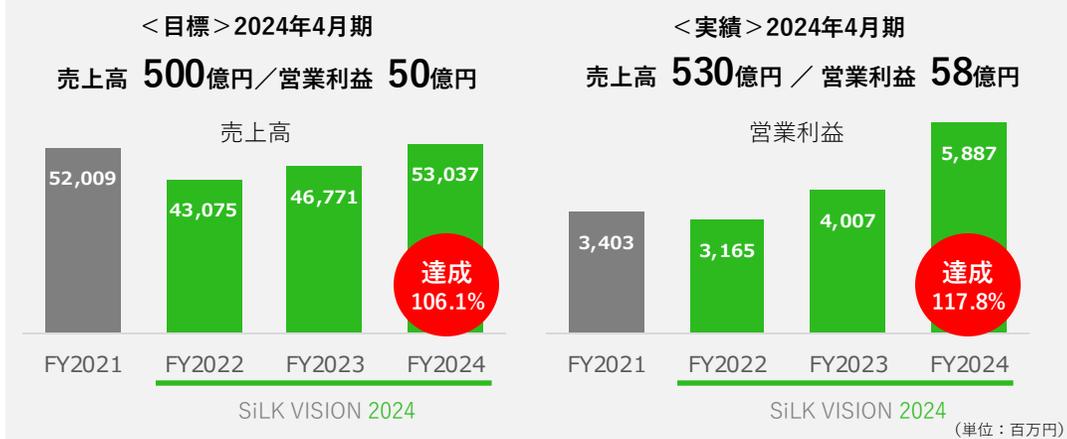
<戦略>

- 効率的運営及びリソースの再配置
- アフィリエイターを活用したインフルエンサーマーケティングの拡大
- 新規事業の立案、実行

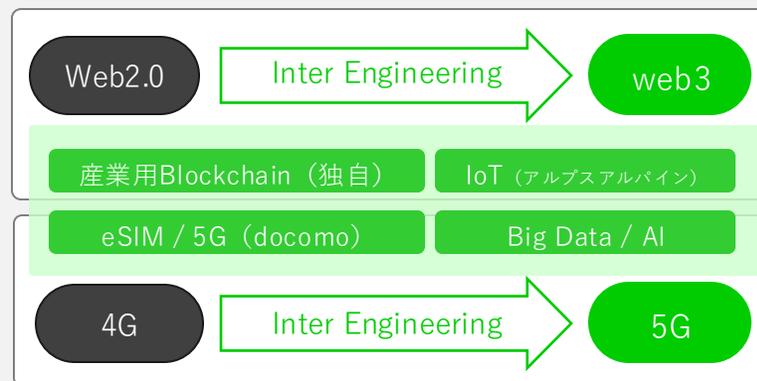
<成果>

- 一人当たり粗利の向上
- アフィリエイト顧客増により事業規模拡大
- 新規事業のサービスインを実現

目標値の達成状況について



5G/web3技術のセットアップ

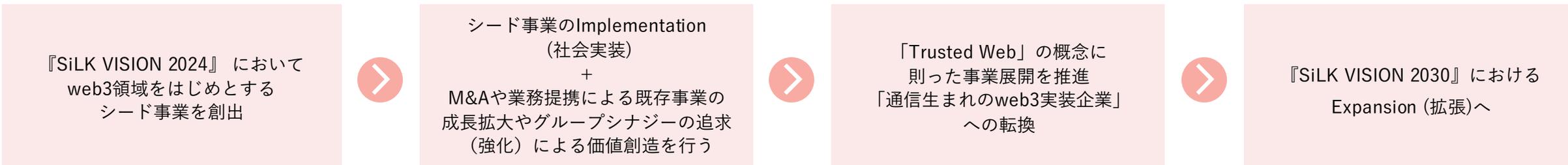


当社グループが独自開発したモバイルL1ブロックチェーンを使ったweb3サービスのPoCの実施や、エッジ型LLMによる生成AIシステムを開発してスマートフォンでの“非中央集権化インフラ”の整備を強化するなど、着実に技術拡大が進捗

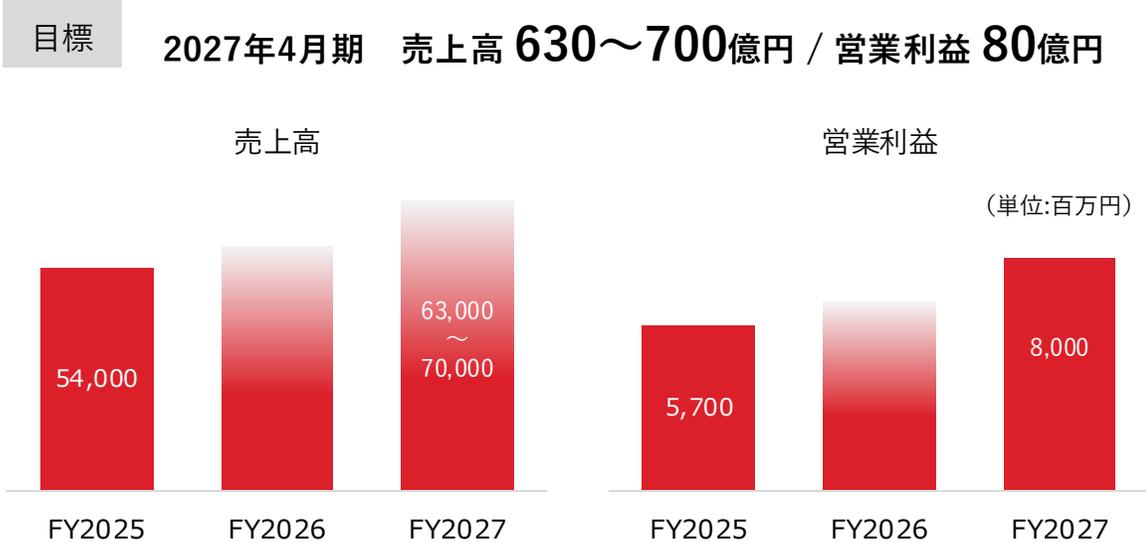
中期経営計画『SiLK VISION 2027』(2024/5~2027/4)の概要



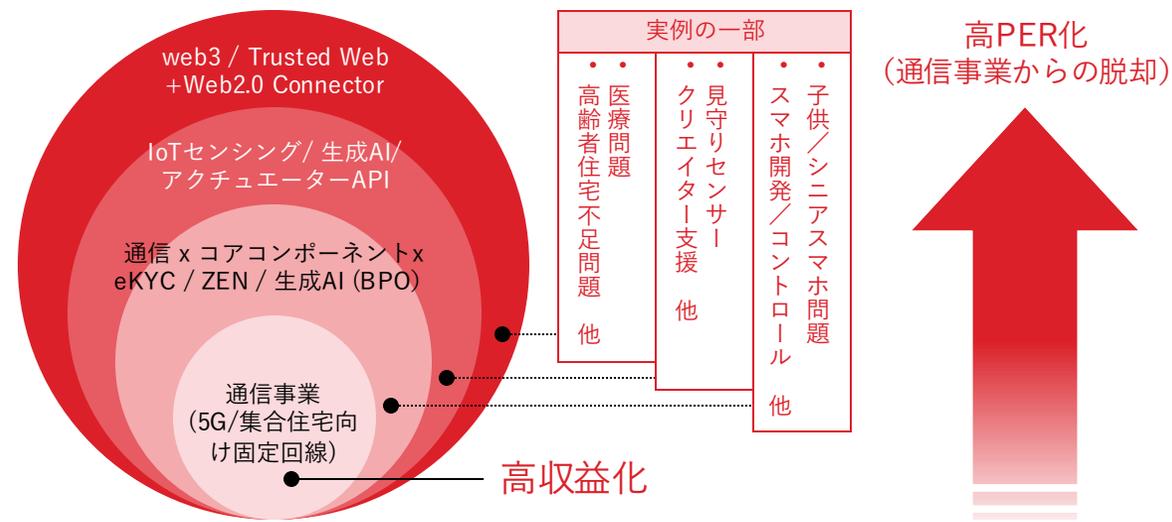
— 通信生まれのweb3実装企業へ —



目標値



web3実装企業へのカテゴリーチェンジ



既存の通信事業における高収益化を図りつつ、web3・AI領域の事業規模拡大により、様々な社会課題の解決に取り組む。通信生まれのフリービットグループだからこそできる技術力を活かし、「web3実装企業」へのカテゴリーチェンジを目指し、企業価値の向上につなげていきます。

中期経営計画『SiLK VISION 2027』における成長戦略

成長戦略

Web2.0とweb3のハイブリッド手法により、段階的・補完的にweb3の社会実装を目指していきます。



中期経営計画『SiLK VISION 2027』における成長戦略 – グループ企業連携

成長戦略の具体策 freebit × GIGA PRIZEのweb3社会実装に向けた「価値創造委員会の設立」

👍 Homestyleの三方よし / 目指す姿



3つのパラダイム (有限の地球、高齢化社会、知の爆発) に対し、フリービットとギガプライズは価値創造委員会を設立し、技術やノウハウを結集して課題解決に挑戦。パートナー企業とともに、新しい価値を創造するビジネスを展開していきます。

価値創造委員会の設立

 fb CEO兼CTO 石田
 fb CFO 清水
 GP 社長 佐藤
 GP 取締役 植田
 シニアドバイザー 梁瀬泰孝氏
 事務局長 柴田

各分野の執行役員クラスメンバー (分科会)

21世紀の3つのパラダイム

- 有限の地球
- 高齢化社会
- 知の爆発

第1段階 LIVINGTOWN 5G

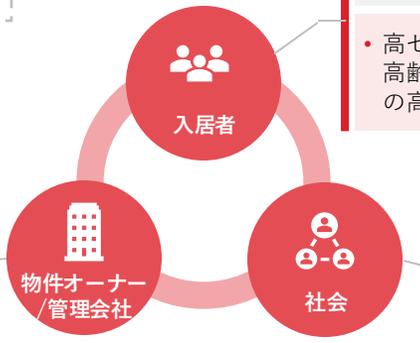
LIVINGTOWN みなとみらいにおける5G×web3×AI×IoTを垂直統合した社会実装実験「LIVE! LIVINGTOWN」Local 5G免許を2024年5月28日取得

社会実装 Implementation

三方よし 目指す姿

- 顧客基盤の拡大と収益源の多様化
- 長期的な事業の持続可能性を確保

web3	データ管理システム
デジタル化	物件の資産価値向上
IoTデバイス	物件のエネルギー管理や遠隔監視等
▶ 運用コストの削減	



- 入居者
 - 快適な宅内IoT環境による豊かな暮らし
 - 高セキュリティかつ高速で安定したインターネット環境で、高齢化社会を見据えたスマートホーム機能が充実した利便性の高い住環境に
- 物件オーナー/管理会社
 - デジタルデバイドの解消
 - セキュリティとプライバシーの強化
 - 環境負荷の低減
- 社会
 - デジタルデバイドを解消し、デジタルプラットフォームを通じた地域コミュニティを強化

🔍 web3技術を活用し、快適でセキュアな生活環境を提供する、三方よしの社会を目指す

🎯 今後の展開

🕒 短期

- 新たな通信技術/スマートホームサービス/web3・LLMなど研究開発力の強化
- ネットワークサービス料金の低廉化
- 他事業社とのアライアンス強化による地域展開の加速
- リーディングカンパニーとしてのガバナンス強化

グループ全体の知見を結集し各種課題に取り組むことで、ガバナンス強化と付加価値向上を果たし、入居者に更なる安心・安全をお届けする

📅 長期

- 高齢化社会の進展にかかわらず、誰もが長きに渡り安心して暮らせる住環境を提供するサービスを展開
- 宅内IoTシステムの推進とweb3サービスの提供を通じて、生活利便性の向上、環境負荷の低減、デジタルトランザクションの安全性強化を実現する

入居者の「命と生活を守るサービス」を提供することで社会全体のDXを推進

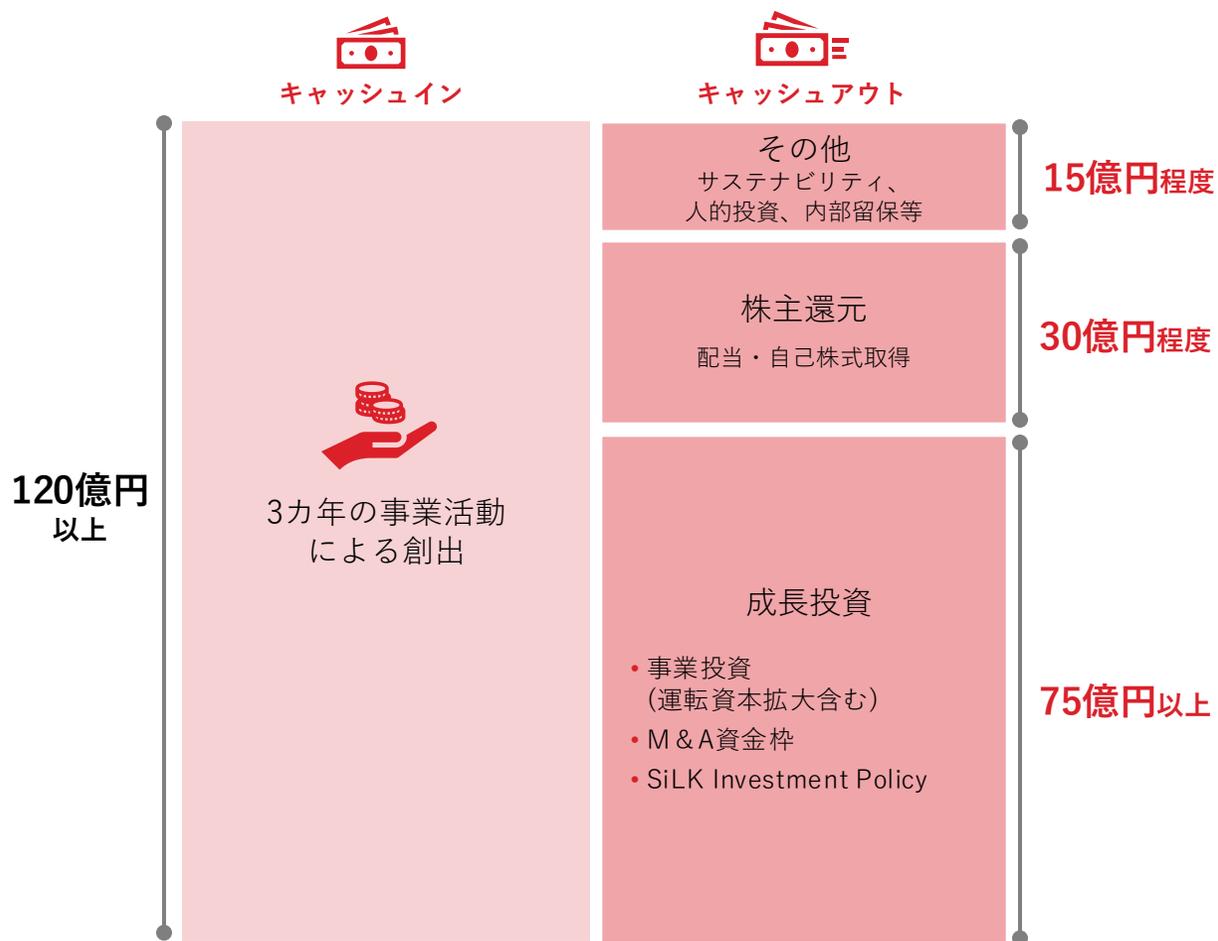
持続可能性を高めていくことに貢献するとともにフリービットグループの企業価値向上を図る

中期経営計画『SiLK VISION 2027』における財務戦略

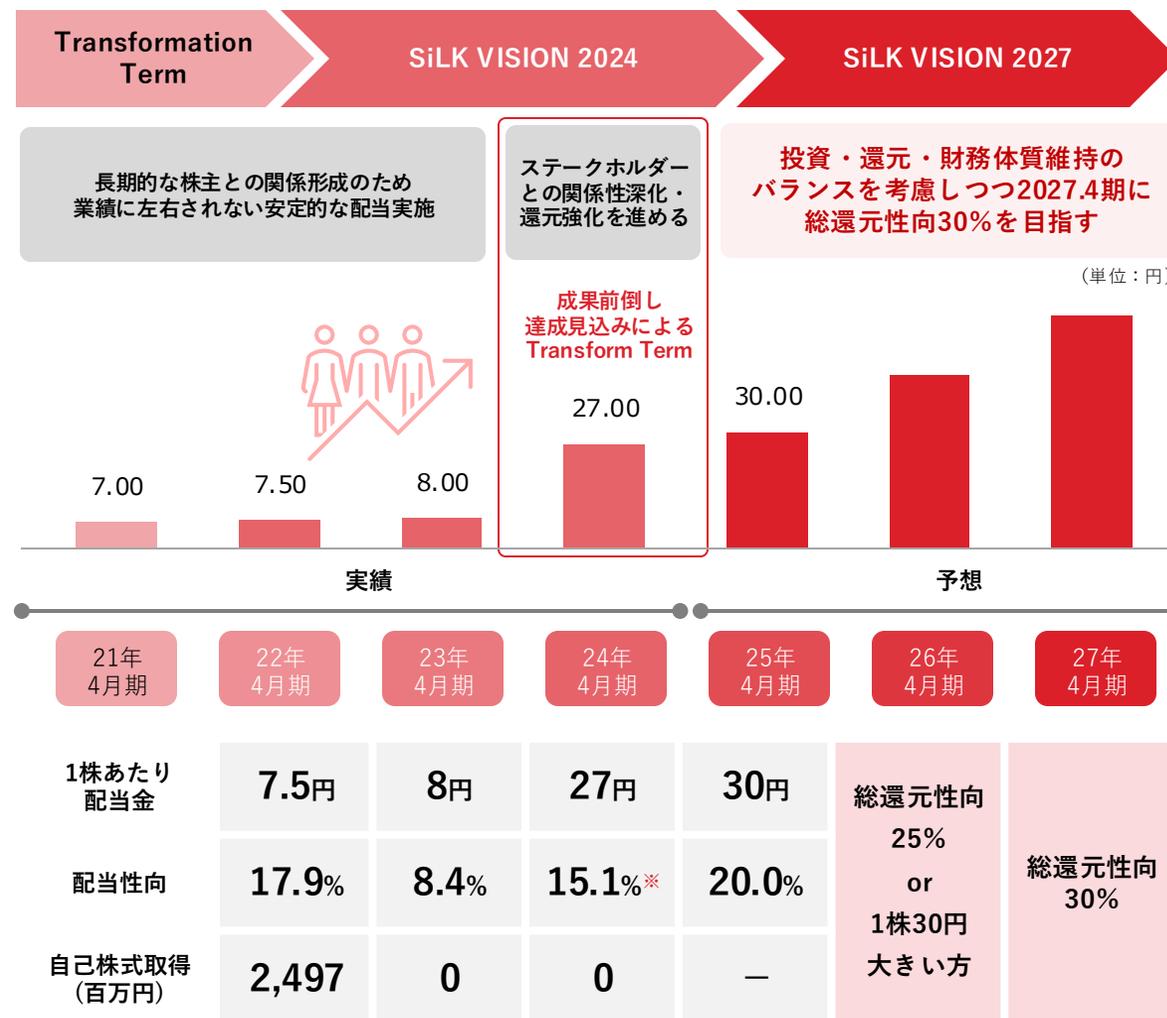
財務戦略

(継続的成長のためのキャピタルアロケーション)

『SiLK VISION 2027』における事業活動で創出する営業キャッシュフローを原資に「成長投資」「株主還元」「健全な財務体質の維持」の3つのバランスを考慮したキャピタルアロケーションにより、継続的成長と企業価値の向上を目指していきます。



配当による還元方針

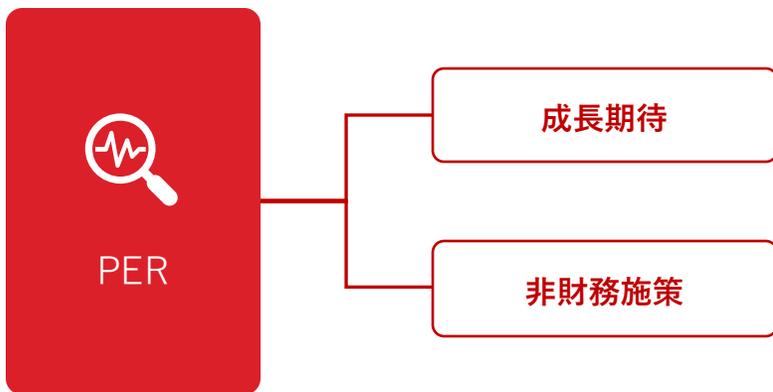
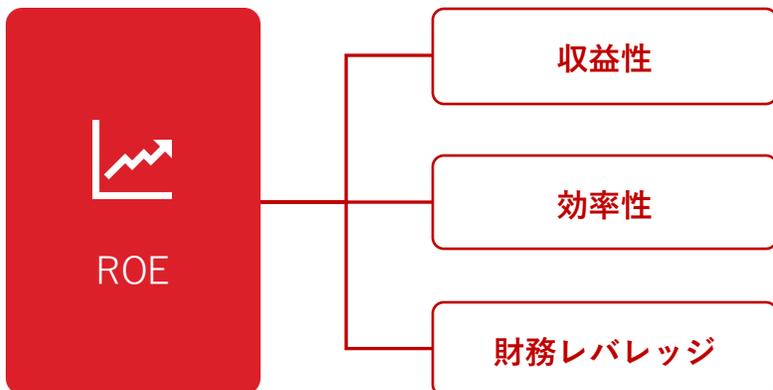


* ギガプライズグループの決算期変更による影響を除いた値: 15.8%

中期経営計画『SiLK VISION 2027』における企業価値向上

資本コストと企業価値を意識した経営

中期経営計画を実行していくことで株主資本コスト（現状8～9%）を上回るROE（過去3カ年平均23.4%）を確保しつつ、市場からの成長期待や高PER化を目指した取り組みを実行していくことで企業価値向上を目指していきます。



現状認識

前中期経営計画期間『SiLK VISION 2024』の平均値

- 売上高当期純利益率：4.2%
 - ▶ 情報通信カテゴリの平均以上
- 総資産回転率：1.3倍
 - ▶ 良好企業水準の1倍を上回っている
- 財務レバレッジ：4.2倍
 - ▶ 成長基調企業としての適正範囲
- ROE：23.4%
 - ▶ プライム市場の平均値9.7% (2021年度) を上回っている

- PERは8～9倍程度
- 中期的な成長のための投資と還元の方針が示されていない
- 当社グループが目指す通信事業以外の成長領域に対するステークホルダーの認識・理解が不足している
- 想定株主資本コスト8～9%

目標『SiLK VISION 2027』

- 資本効率性を加味しつつ、継続的な成長投資により売上高当期純利益率の向上
- 「投資」「還元」のバランスを考慮しつつ、配当の拡大及び自社株取得の推進

上記を考慮しつつキャピタルアロケーションを行い前3カ年『SiLK VISION 2024』に引き続き高ROEを維持していく

- 既存事業の着実な成長とともに、シード事業も含めた5G / web3 / AI領域について、グループ一体での持続的な成長戦略を発信
- 「IRの強化」として、IR / PRコンテンツの拡充及び市場とのコミュニケーションに注力
- One Vision (フリービット株主DAO) によるweb3型ステークホルダーコミュニティの創造
- 人的資本投資をはじめサステナビリティ投資の実行

ステークホルダー資本主義の実現 – One Vision

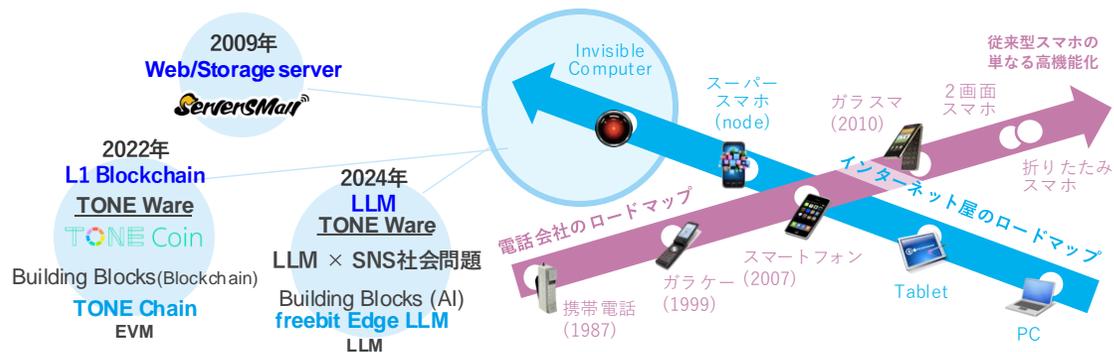
👍 One Visionの三方よし

One Visionは、ステークホルダーとの間に良い循環を生み出し、サステナブルに続いていくための三方よしのモデルです。すでに、「顧客」「株主」「企業・従業員」との間で独自サービスと技術を通じた取り組みを開始しており、今後、社会全体のステークホルダーに拡大していきます。



📺 One Visionを支えるfreebitのサステナブルなテクノロジー

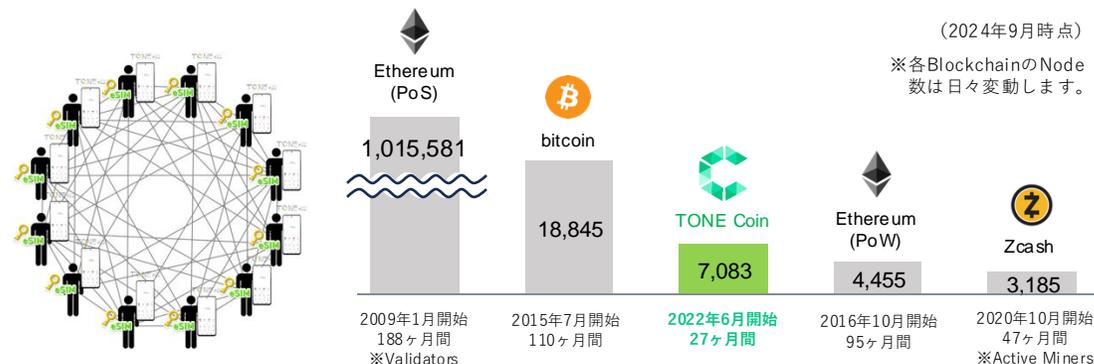
分散された本来のインターネットの実現 → 非中央集権化/Edge Computingの推進



フリービットのスマートフォンによる非中央集権化への取り組みにより生み出された「Servers Man」「TONE Chain」「freebit Edge LLM」は非中央集権的な本来のインターネットの実現に貢献。これらの技術をつなぎ合わせ、One Visionの各種サービスをTrust、かつサステナブルな形で実現。

🚶 環境負荷の低いL1 Blockchain「TONE Chain」

フリービットは、従来より理論的にはスマートフォンによるメッシュネットワークが「究極の非中央集権化インフラ」と考えており、それを具現化したレイヤー1ブロックチェーン「TONE Chain」は2022年6月に提供を開始して以来、着実にNode数を増やし、世界3位の規模にまで成長。スマートフォンのみで構成されていることで、環境負荷の低減と意思決定の分散化を実現しています。



ステークホルダー資本主義の実現 – One Vision

One Vision for

顧客



TONE Coin

▶ トーンモバイルユーザーによる実証実験への参加で、TONE Coinのノード数世界第3位の規模まで成長



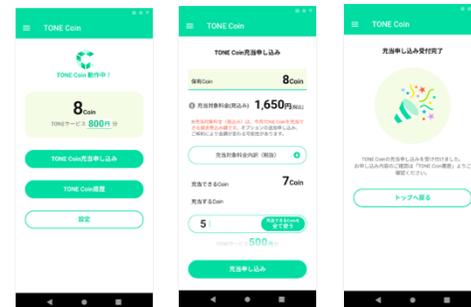
TONE Chain

「freebit web3 Blocks」を利用したスマートフォン上で動作するEthereum互換レイヤ1ブロックチェーン



TONE Coin

- 「TONE Chain」上の独自ポイントサービス
- スマートフォンの充電中に「TONE Coin」アプリがバックグラウンドで自動起動し、シーリング報酬として「TONE Coin」が貯まる



「TONE Coin」は、シーリング報酬の「リアル価値交換」として、「1 TONE Coin」あたり、トーンモバイルの利用料金100円分（2024年2月1日現在）に充当可能

株主



株主DAO

- ▶ web3スターターキットとして、「TONE Chain」を活用したDAO（分散型自律組織）である「フリービット株主DAO」を株主に提供
- ▶ これまでの配当還元策と株主優待制度に加わった、web3時代の新しい株主還元

可能な体験	シーリングに応じた「TONE Coin」の獲得 フリービット株主DAOアプリを通じて「TONE Chain」のシーリングに参加 ▶ 報酬として「TONE Coin」を獲得可能	株主専用掲示板における交流 アプリ内に「株主専用掲示板」を設け、株主様同士や、IR担当者と交流可能な新たなコミュニティを運営	当社グループの先進的な実証実験への参加（参加権を順次提供予定） TONE Care
			TONE ライフログ TONE カメラ

従業員



freebit group

- ▶ 従業員専用の社内アプリ「freebit group」に「TONE Chain」機能を搭載し、シーリング報酬として「TONE Coin」を付与
- ▶ TONE Coinの保有数に応じた福利厚生プログラムを実施



One Vision Health Style



One Vision Work Style



One Vision Career Style

- ジムでのパーソナルトレーナー利用補助、ランチ代の利用、健康診断のバージョンアップ etc.
- リモートワークの追加利用 etc.
- キャリアアップ研修の利用 etc.

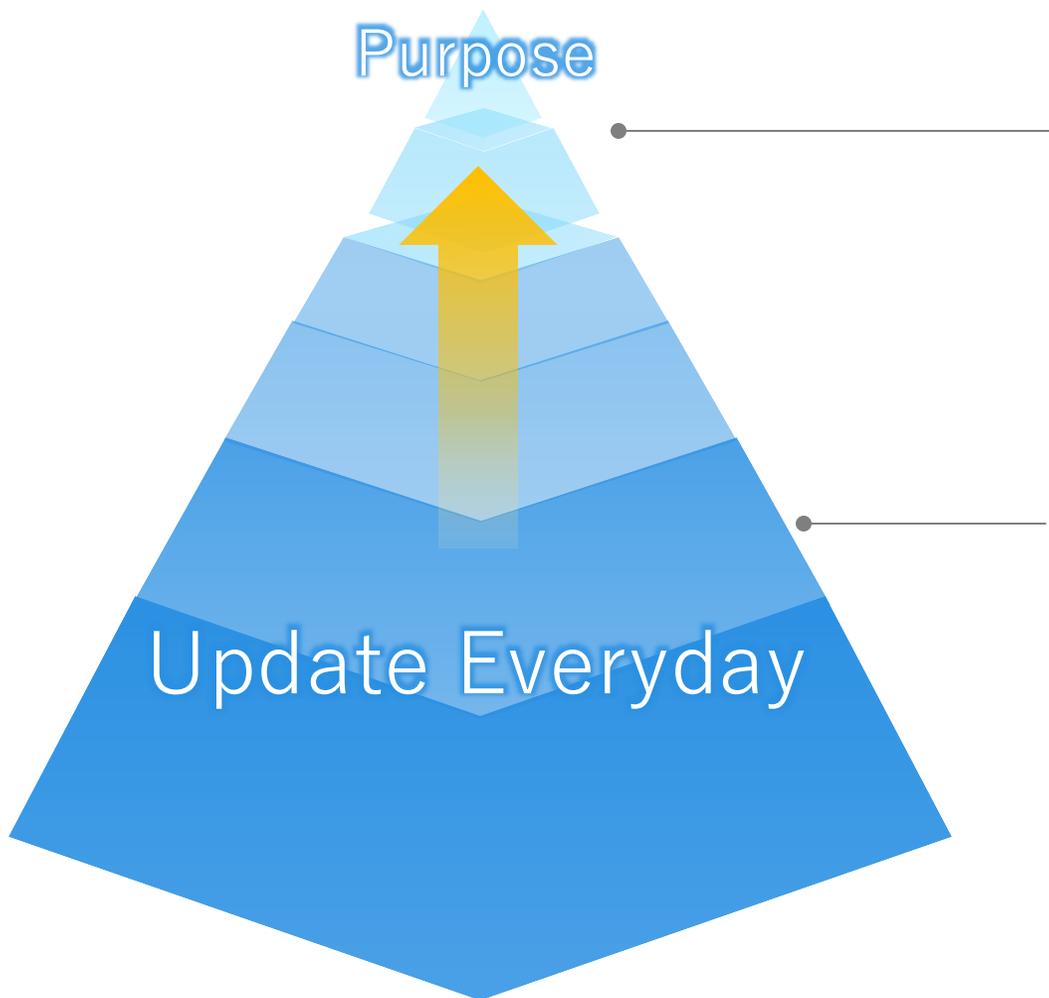
従業員からのアイデアも募集し、プログラム内容のアップデートを随時実施

「OneVision」を通じて、従業員が健康的かつ主体的・自律的に働くための支援プログラムを提供し、より充実した働き方ができる環境を整備

web3実装を支える人的資本経営

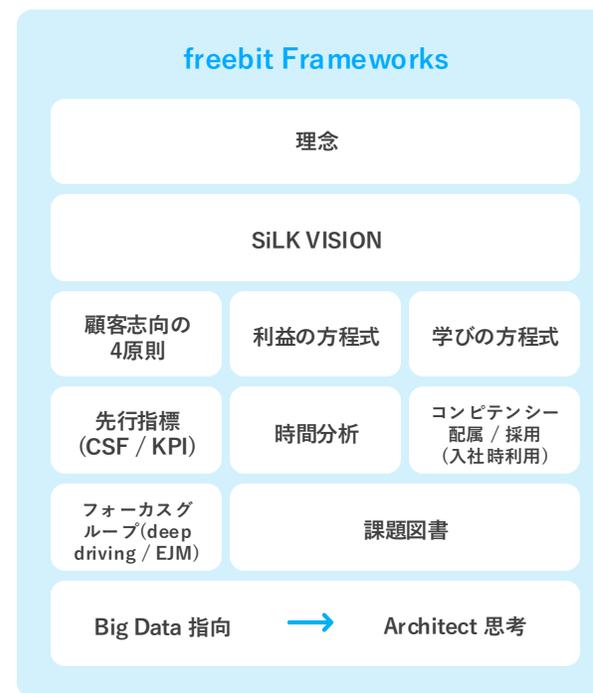


「Being The NET Frontier!」というパーパスのもと、web3の社会実装にチャレンジするフリービットグループは、従業員一人ひとりの仕事の進め方や働き方についてもweb3の考え方をインストールし、従業員がより自身をアップデートをしていけるような会社を目指します。パーパス実現に向けて従業員のアップデートを支援する新しい人事制度・システムの導入を行っていきます。



Being The NET Frontier! Internetをひろげ、社会に貢献する

-  よりオープンに
“Open you a bit”
-  よりサステナブルに
“Sustain you a bit”
-  よりインクルーシブに
“Team you a bit”
-  より学びを日常に
“Improve you a bit”
-  より当事者として
“We all lead a bit”



web3実装を支える人的資本経営 – CHROインタビュー

“アーキテクト人材”が牽引するフリービットグループの人的資本経営

アーキテクト人材とは？

フリービットグループでは、『Being The NET frontier!』を理念に掲げ、新しい技術を起点とした、まだ世の中になくサービスの開発を行っています。これまでに見たこともないサービスを0から創り上げていくために必要となってくるのが『アーキテクト思考』※と呼ばれる考え方になります。アーキテクト思考とは『抽象化してゼロベースで全体構想を考えること』であり、アーキテクト人材は抽象化された全体構想をサービスの具体的な部分まで落とし込み具体的な問題解決を進めていくことができる人材と考えております。

人的資本経営に対するフリービットグループの考え方

人的資本経営とは、人材を極めて重要な経営資源であると位置付け、会社が目指す未来を実現するために必要な人材を採用し、育成し、そのための組織を整備していくことだと考えています。とくに当社では、「アーキテクト思考」で物事を考え、推進していける人材を重視しており、こうした人材をいかに多く確保できるかが、人的資本経営の鍵を握ります。

ITエンジニア不足が深刻化する中、当社ではweb3やAIといった新しい技術に積極的に取り組んでいることが評価され、優秀な人材が多く集まるようになってきました。今後も技術的な発信をさらに強化し、日本だけでなくグローバルにエンジニアを獲得していきたいと考えています。

当社には新卒1年目からでもプロジェクトを任せするなど自律した人材を育てる風土がある一方、マネジメント面など、まだまだ強化が必要な部分があることも否定できません。こうした弱みを早期に克服し、人的資本をさらに充実させていく方針です。

従業員が自身をアップデートし続けていくための環境整備

従業員一人ひとりが自らのスキルやキャリアを常にアップデートし続けられるような環境の整備に力を入れています。研修面では特にチームマネジメントに関するスキルの向上を重視しており、マネージャー層はもちろん、これからマネージャーを目指したいという従業員を対象とした研修も用意しています。

従業員のワークライフバランスにも配慮しており、働き方の選択肢を増やせるような制度を積極的に取り入れています。フレックスタイム（コアタイムあり）制度をはじめ、育児や介護のために就業時間を短縮しながら正社員として働き続けられる「フレキシブルワーク制度」などを導入しています。

web3実装企業の実現に向けた人材価値の最大化

「web3実装企業」の実現に不可欠なのは、自律的に動ける人材です。会社やチームが抱えている問題や課題を「自分ごと」として捉え、自ら動くことができる人材を増やしていくことが、人材価値の最大化に直結します。また、新しいサービス・価値を提供していくには、「アーキテクト人材」を育てていくことも重要です。

こうした人材を育成するため、当社では新卒を含めて若手の人材に大胆に権限を与え、新しいサービスの企画開発を担当させるようにしています。固定観念にとらわれず、新しい考え方を持った優秀な若い人材はたくさんいます。こうした人たちが思う存分活躍できる場を提供することが、優れた人材を育てるための一番の近道であると考えています。

また、人材価値の最大化に向けたもう一つの試みが、AIの活用です。これまで人間が行っていた様々なタスクを自動化することで、人間はより戦略的な仕事や根本的な課題解決に専念できます。このような「仕事のやり方の変化」に対応した社内の環境づくりにも力を入れています。

友松 功一
取締役CHRO



web3実装を支える人的資本経営 — 多様な視点を取り入れるために

女性が当たり前前に活躍できる企業へ。チャレンジすれば誰にでも道は拓かれる



S・I

入社6年目
TONE事業本部 企画部



和田 育子

取締役CSO
グループ経営企画本部長

R・Y

入社5年目
DX事業本部 新規事業開発部



フリービットグループでの取り組み状況



S・I：当社は男女関係なく、活躍できる機会のある職場だと感じています。女性の課長や開発スタッフも多く、皆さん積極的に意見を出したり指示を出したりされています。日々の業務において、女性であることをあまり意識する必要がないほどです。



R・Y：男性が多い会社ですが、女性でも活躍しやすい環境ではあると思います。管理職には子育て世代の方も多く、育児休業からの復帰、子供の送り迎えや学校行事のためにフレックスタイムや有給休暇を利用することに対する理解もあり、仕事と子育ての両立もしやすい環境です。



女性活躍の推進に対するスタンス

和田：日本社会で女性が活躍するには、管理職比率が低い、育児休業やフレックスタイムなどの制度が十分に整っていないなど、まだ多くの課題があります。しかし当社は、あえて「女性活躍の推進」という命題を掲げなくても、誰にでも活躍する機会が平等に与えられている会社であり、本人の仕事やキャリアに対する価値観や考え次第で、女性でも十分に活躍できることは間違いないと考えています。

管理部門の一社員として入社した私が取締役というポジションに就くことができたのは、機会や環境に恵まれたからなのかもしれません。しかし私自身は常に、会社の成長が自分の成長にもつながるのだという想いで、立場や役職にこだわらず、その時その時、会社にとって必要だと思われる仕事に全力で取り組んできました。好奇心とチャレンジ精神を持って積極的に取り組めば、自らの活躍の場をどんどん広げていけるのが、当社の大きな魅力の一つであると考えています。



ダイバーシティの推進、女性活躍の推進とweb3実装企業の実現について



S・I：私はモバイル事業の企画職に携わっています。当社グループが提供するトーンモバイルは、スマホ依存や詐欺問題、孤独問題などの社会課題を解消するサービスの提供を目指しています。web3の特徴である透明性と信頼性を活かし、全世代が安心して利用できるプラットフォームを作っていきたいと考えています。



R・Y：私はブロックチェーン上で稼働する非中央集権型アプリを利用した新規事業に携わっています。プロジェクトで積み重ねたノウハウを活用して、より多くの分野で、新たなビジネスチャンスや価値を提供していきたいと考えています。また、日本国内に限らず、海外にも展開していきたいです。

和田：女性管理職や女性役員を増やし、女性ならではの発想や視点を取り入れていくことが、サステナビリティな経営へとつながっていくと思っています。そのためにも、女性社員にはもっと積極的に発言してもらいたいですし、それに相応しい実力も身につけてほしいと思っています。一人でも多くの女性が幹部メンバーの一員となり、会社経営や事業の運営を担ってほしいと思っています。

web3実装を支える人的資本経営 – 高い専門性のために

常に新たな挑戦が可能な開発環境で、web3実装企業の実現を目指す

働きがいとスキルのアップデート

M・O：常に新しい挑戦をできることが、当社の最大の魅力です。意欲と行動力があれば、挑戦の機会が得られます。先進的かつ社会的インパクトの大きい領域に取り組んでおり、自分が関わるプロジェクトが社会に与える影響を実感しながら働けることにも、大きなやりがいを感じています。

P・J：当社のR&D部門には、自分で挑戦的な目標を設定し、それを達成するために努力できる環境が整っています。新しいサービスや製品を設計・開発したり、難しい問題を解決したりするたびに、大きな達成感が得られるとともに、自らのスキルアップを実感することができます。



P・J
入社15年目
NN技術本部 R&D部

M・O
入社5年目
NN技術本部 R&D部

「web3実装企業」の実現に向けた取り組み



M・O：入社3年目に石田社長からweb3の事業に誘われました。自分が中心となり、長期にわたって情熱を持ち続けられる、将来性のある領域だと感じました。暗号資産やNFTといった新しい概念に触れたとき、非常にわくわくしたのを覚えています。また、この分野で同年代の日本人が活躍していることに刺激を受け、自分もこの分野に挑戦し、活躍したいと強く思うようになりました。そして現在では、チーム全員が同じ目線で開発に取り組めるように、アーキテクチャの可視化を行い、一貫性を持ってプロジェクトを進められるよう努めています。今後はシステム構成の標準化にも取り組み、社内全体でweb3技術を活用したプロダクト開発を促進し、更なる価値創造につなげたいと考えています。

P・J：私は当社がweb3に挑戦し始めた最初期からこの技術に携わってきました。現在は、ブロックチェーンソリューションのスケラビリティの改善に取り組んでいます。web3のパラダイムに基づいて新しい製品やサービスを設計し、高品質なソースコードを書くこと、そしてそれらをミーティングで他のチームメンバーと共有することを重視しています。

web3技術を通じたステークホルダーへの価値提供



M・O：web3技術を活用することで、これまでセキュリティのハードルが高く、新たなサービスの創出が難しかった分野、例えば医療分野などで、革新的な価値を提供できると考えています。またweb3の技術で発行されるトークンのインセンティブがコミュニティの活動にもたらす可能性に特に興味があります。個々の貢献を可視化し、参加者のエンゲージメントを高める可能性のあるトークンを活用し、新たな体験の創出を目指します。



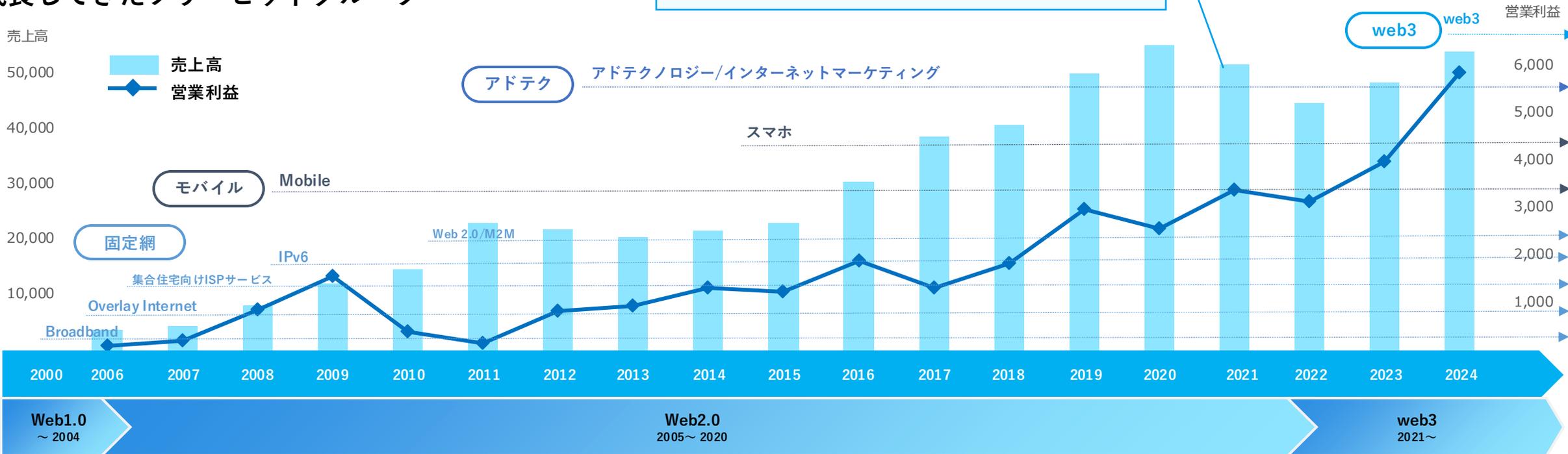
P・J：web3技術には多くの利点があります。私 が特に優れていると感じているのは、非中央集権化とユーザーのコントロール、透明性、セキュリティ、そして検閲に対する耐性です。これらのメリットを十分に発揮することができれば、個人が主導権を持ち、セキュアで透明な新しい体験を、お客様や社会に提供できると信じています。私たちはweb3技術を通じて、人々がより主体的に、そして意義ある形で社会やコミュニティに貢献できる未来を目指します。

freebit groupの歩み

インフラの変革期に独自技術を創出することで成長してきたフリービットグループ

大規模なオフバランス化（事業の選択と集中）及び会計方針の変更（収益認識に関する会計基準等の適用）の影響により減少

（単位：百万円）



業績の変遷

インターネットの変遷

当社グループの歩み

一方向性の時代

日本のインターネットユーザー層の拡大を目指し「Free ISP's ISP」（無料ISPのためのISP）の立ち上げを経て、高速固定網回線を提供するブロードバンド化事業を展開。

双方向性の時代（中央集権型）

マンションISPサービスを提供するギガプライズ、インターネット広告代理店のフルスピードがグループの一員に。当社は、あらゆる情報機器をインターネットにつなぎ、安全・安心な通信を実現するユビキタス化事業も展開。そして、ビジネスを「インターネットビジネス支援事業」から「Smart Infra提供事業」へ拡張定義し、IPv6、仮想化技術、XaaSを駆使したクラウドプラットフォーム提供サービスに事業を拡大。さらに、コンシューマ向けスマートフォンキャリア事業へと参入。回線の接続からクラウド、webマーケティング、アドテクノロジー、そして端末デバイスまで網羅する企業体へ進化。

分散型の時代（非中央集権型）

web3に必要な技術を新たに開発し、既存の技術と掛け合わせることで、シード事業を創出。今後シード事業を社会実装フェーズへ移行させ、社会課題の解決に貢献していく。

2000
石田宏樹、清水高等により株式会社フリービット・ドットコムを設立

2002
フリービット株式会社に商号を変更

2007
東京証券取引所 東証マザーズに上場
個人向けISP事業を展開する株式会社ドリーム・トレイン・インターネットを連結子会社化

2008
コールセンター事業を行う唐津「SiLK Hotlines」の稼働を開始

2009
マンションISPサービスを提供する株式会社ギガプライズを連結子会社化

2010
インターネット広告代理店の株式会社フルスピードを連結子会社化

2013
フリービットスマートワークス株式会社を設立

2015
MVNO事業を展開するフリービットモバイル株式会社を設立
業容拡大のための投資を目的にフリービットインベストメント株式会社を設立

2016
東京証券取引所市場第一部に市場変更

2022
東京証券取引所プライム市場に市場区分変更

2022
株式会社フルスピードを完全子会社化

2023
アルプスアルパイン社との資本業務提携契約締結

数字で見るfreebit group

(2024年4月期末実績)

売上高

53,037

百万円



営業利益

5,887

百万円



独自の技術開発力

- 既存のインターネットに仮想インターネットを構築する技術 (Overlay Internet)
- 通信の品質を向上または維持するための独自の帯域制御 etc.
- 派生する技術を含め、国内外に62件の技術特許



特許技術 取得済
国内 19件 / 海外 43件

5Gインフラ支援事業



MVNO事業への参入支援サービス、ISP向けの事業支援サービスに加え、様々な事業法人がクラウドやIoT等の導入を行うための支援サービスを推進



ROE

35.9%



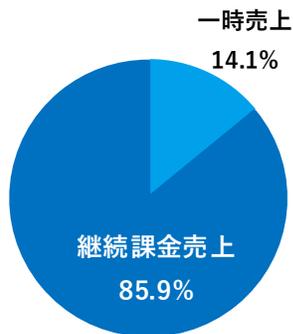
TSR

133.9%



継続課金のビジネスモデル

固定回線/モバイル通信/集合住宅向けインターネット接続サービスなど、グループ全体の収益の約85%が継続課金のビジネスモデルによるもの。収益の一部を活用し、中長期的な成長のための新規事業に先行投資を継続実行



5G生活様式支援事業

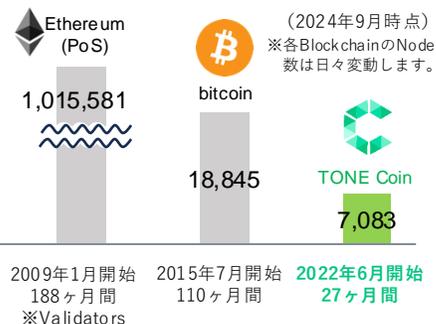


スマートフォン等を利用したモバイル通信サービスや固定回線によるインターネット関連サービスの提供に加え、5G Homestyle (集合住宅向けインターネットサービス) の提供を推進



TONE Coin

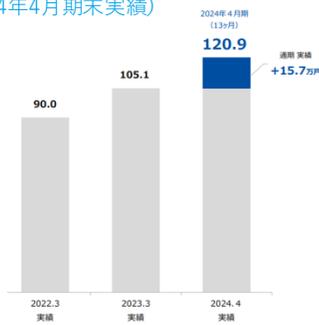
世界第3位規模のNode数



集合住宅向けISPサービス

提供戸数120.9万戸

(2024年4月期末実績)



afb (アフィビー) 「アフィリエイト・プログラムに関する意識調査2023」※における、高収入パートナーからの

利用者満足度 1位



企業・クリエイター5G DX支援事業



インターネットマーケティングやアドテクノロジー関連事業の推進に加えクリエイター/インフルエンサーが自らの作品を拡散させることができるプラットフォームなどを展開



※ 出所) 「アフィリエイト・プログラムに関する意識調査2023」 <https://affiliate-marketing.jp/release/202306.pdf>

各事業セグメントの紹介



5Gインフラ支援事業

5G	eSIM
AI	Blockchain

により、膨大なヒトとモノが安心・安価につながるインフラプラットフォームを提供

「Free ISP's ISP」から始まった free you a bit

- スタート
- その後
- 現在

日本のインターネットユーザー層の拡大を目指し「Free ISP's ISP」(無料ISPのためのISP) というコンセプトの事業からスタートしたフリービット

高品質でセキュアな高速通信、先進的ネットワーク技術を駆使した新サービスを次々と展開

5Gインフラ支援事業では、MVNO事業への参入支援サービス、ISP向けの事業支援サービスに加え、様々な事業法人がクラウドやIoT等の導入を行うための支援サービスを推進



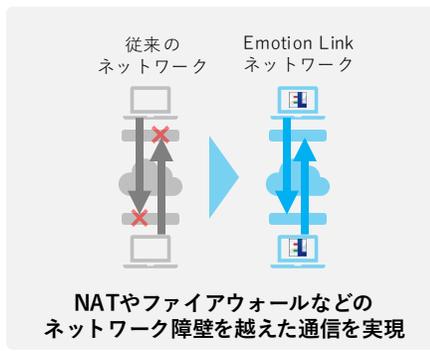
- 5G時代に対応するための次世代ネットワークやデータセンターを構築し、クラウド基盤を活かしたサービス提供の強化や5G、eSIM（組み込み型のSIM）を活用したサービスも展開するとともに、それらをはじめとした事業リソースを組み合わせたサービスも拡大していく
- 国内産業向け5G関連市場は2,106億円、IoT市場は10.2兆円という巨大市場の創出が見込まれている
- その市場を視野に入れ、安定かつ安心・安全な通信インフラサービスの継続的な提供を行いつつ、5G時代に対応する次世代ネットワークやデータセンターを構築し、5GやeSIMを活用した新サービスの展開を目指す



Highlight Technology

独自技術【Emotion Link】

- Emotion Linkは「Over Lay Internet (既存のインターネットの上に仮想的なインターネットを構築する)」により、通信の到達性や安全性を柔軟に確保することができる、安全・安心な通信を実現するネットワーク・ソリューション
- ネットワークの実現に必要な機器、端末同士の安全な双方向通信、ファイアウォールやNATを越えたダイレクト・アクセスを実現



ソフトウェア型 スタック型

USB型 ボックス型 機器組み込み型

Emotion Linkでは、顧客の様々なニーズに対応するため、多様な機器のネットワーク化を可能にする豊富なクライアントバリエーションを用意しています

主要サービス紹介

	概要	主な提供ソリューション	サービスの特徴
freebit MVNO Pack	MVNO事業展開をサポートするMVNE事業	MVNO事業者を支援するMVNEサービスを提供 MNO (NTTドコモ) とMVNO事業者の間に入り、MVNO事業の立ち上げ・運用のサポート、コンサルティングを行い、MVNO事業の円滑な展開をサポート	<ul style="list-style-type: none"> 専任コンサルタント制 豊富なラインナップで組合せは無限大 低コストで実現
YourNet	ISP事業を全方位バックアップ	ISP事業者に対し、プロバイダーアウトソーシングサービスを提供。インターネット接続、大容量メールなど基本サービスに加え、オンラインストレージ・クラウドプラットフォーム・モバイル接続といった周辺サービスまで総合的にバックアップ	<ul style="list-style-type: none"> YourNet ISP アウトソーシングサービス M-Plus! VPN ISP in a Cloud
freebit cloud	高セキュリティなハイブリッドクラウド	汎用プランからオーダーメイドのサーバー構築まで、幅広いニーズに対応可能なホスティングサービスを提供 次世代ファイアウォール「FortiGate」と実績と信頼高い仮想化ソフトウェア「VMware」を組み込んだセキュアで安定性に優れたクラウド	<ul style="list-style-type: none"> freebit cloud VDC freebit cloud security SIM freebit cloud IoT Platform

各事業セグメントの紹介



5G生活様式支援事業 ①

「安心安全な生活」「健康」「働き方」「住まい」等の「コト」市場の創造を支援する事業プラットフォームを提供

▶ 5G Lifestyle (TONE/DTI)

個人をメインターゲットとしたスマートフォン等を利用したモバイル通信サービスや固定回線によるインターネット関連サービスの提供

トーンモバイル

トーンモバイルは

- 子供たちが初めて使うスマホはどうあるべきか
- シニア世代が使うスマホはどうあるべきか

を考え、テクノロジーによってできること、スマホを使うことへの不安やストレス、抵抗感を軽減し、安心・安全に使える「やさしいスマホ」を提供

▷フリービットグループの有する技術のShowroomとしての位置付けも担う

子どもにスマホを持たせるのが不安

TONEファミリー

夜中もスマホが心配

夜使えないスマホ (22時-6時利用できない)

Webは危険

あんしんインターネット

やさしいスマホへ。

TONE

スマホの利用が不安

置くだけサポート

自画撮り被害防止

TONEカメラ

店舗が近くにない
操作が難しい

遠隔サポート

詐欺電話が心配

あんしん電話

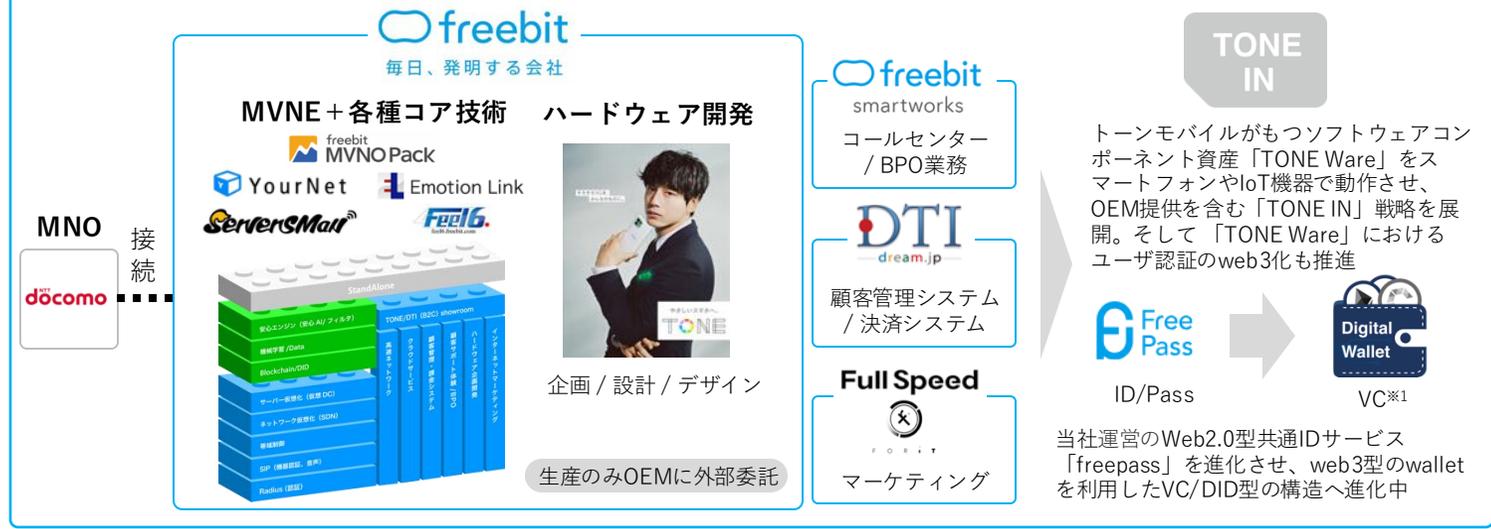
健康でいたい

ライフログ (中之条メソッド)



Highlight Technology

フリービットグループの技術を集結させた「トーンモバイル」は「TONE IN」戦略を展開



社会課題を「トーンモバイル」で解決

TONE Care



どこからでも気軽に無料で医師等※2にオンライン健康相談

医師等が健康に関するアドバイスを実施

TONE Careでは、医師等が契約者や利用者、ご家族の健康相談を実施

チャットで気軽に相談。月に何度でも利用可能

お手軽にチャットで、しかも無料で何度でも相談ができる

オンライン健康相談は1回15分で月2回まで

1回15分で、月2回までお手持ちのトーンモバイルから気軽に相談可能

TONEファミリー



スマホ上で動作するAIがSNS利用の危険度を判断

増加する「SNSでの誹謗中傷」等の問題解決のために、SNS上のトラブルにつながりそうなメッセージをキャッチし、保護者にお知らせ

※1 VC (Verifiable Credentials) : 学歴や資格、身分証明などの情報を保有し、それが信頼できる機関によって検証されていることを証明するデジタル証明書

※2 医師以外の有資格者が相談を受ける場合があります。

各事業セグメントの紹介



5G生活様式支援事業 ②

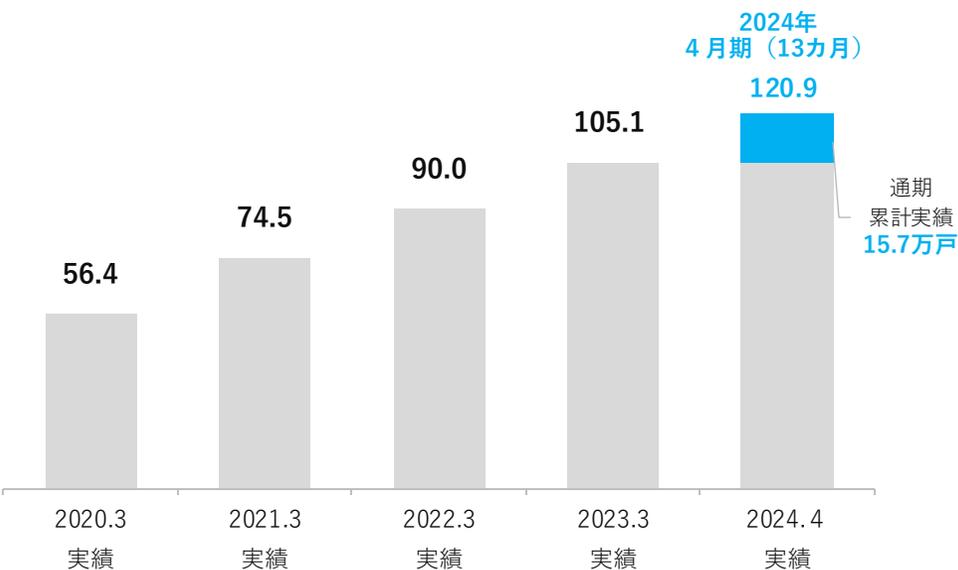
「安心安全な生活」「健康」「働き方」「住まい」等の「コト」市場の創造を支援する事業プラットフォームを提供

▶ 5G Homestyle (GIGA PRIZE) 集合住宅向けインターネットサービスの提供に加え、新規サービスの確立にも注力

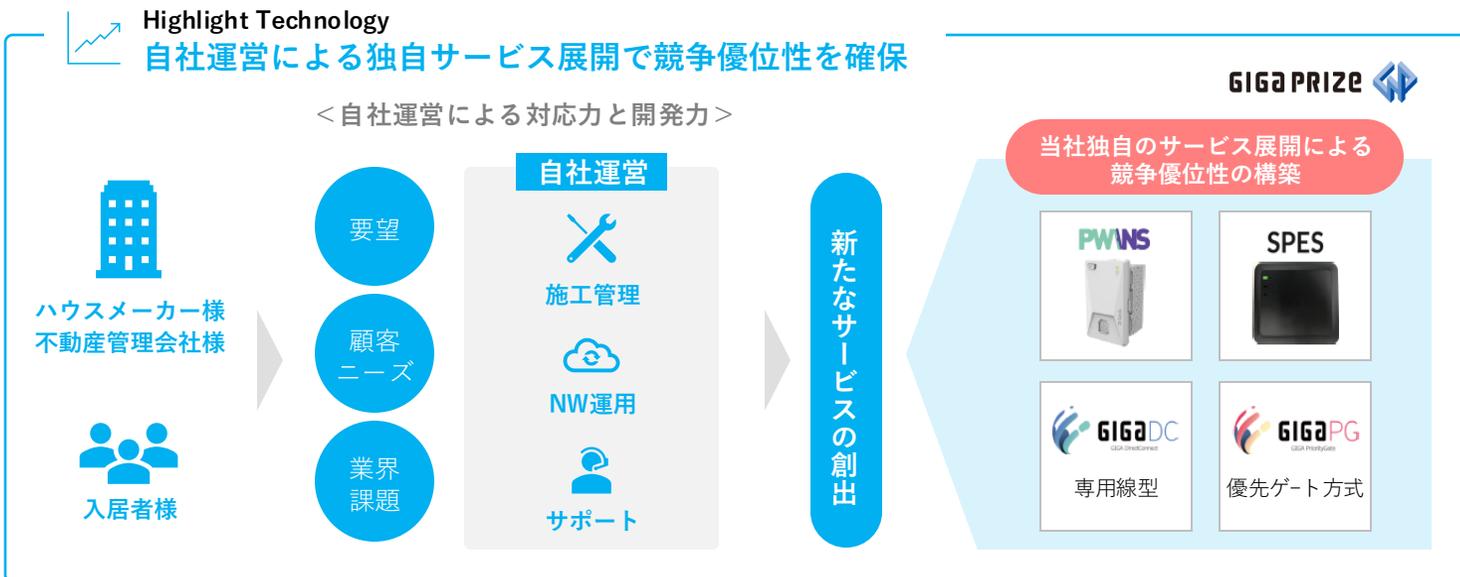
+ 集合住宅向けISPとスマートライフを支援するギガプライズ

- 5G生活様式支援事業の5G Homestyle（集合住宅向けインターネットサービス）の提供を行っているギガプライズは、集合住宅をターゲットにしたインターネットサービスプロバイダ (ISP) として、高速かつ安定したインターネット接続サービスを提供
- 不動産業界向けの業務支援システムやクラウドベースの監視カメラサービスなど、デジタル化を進める多彩なソリューションの展開も進行中

<集合住宅向けISPサービス サービス提供戸数 実績>



Highlight Technology 自社運営による独自サービス展開で競争優位性を確保



Smart City 実現に向けた取り組み



- ギガプライズグループが運営する「LIVINGTOWN みなとみらい」は、「住」を中心に暮らしのアップデートをサポートする異業種共創型の複合施設
- 5GやIoTなどの次世代通信技術を活用したスマートホーム体験を提供し、スマートタウン実現に向けた実証検証を推進



テクノロジーで暮らしを豊かにするべく、住宅周辺の環境においても様々なソリューションを展開

- クラウド型防犯カメラは、レコーダーを使わずに映像をクラウドに記録。ゴミ置き場の不法投棄・駐車場のトラブル対策から侵入・窃盗等の犯罪抑止と、入居者に「安心感」を提供
- スマートポールは、基本的な街灯機能や、LED灯のイルミネーション機能、クラウド型防犯カメラを搭載し、安心・安全を提供
- ギガプライズは住まいの課題やニーズに合わせたソリューションサービスの開発や改善に取り組み、物件価値向上と快適で豊かなくらしの実現に貢献

各事業セグメントの紹介



企業・クリエイター 5G DX支援事業

企業だけでなく、今後のモノづくりの中心となるクリエイターやインフルエンサーに寄り添って「市場創出から市場投入、顧客関係維持」までを可能とするプラットフォーム構築を支援する事業

先端技術のwebマーケサービを提供 ▶ フルスピード
100万サイト超のアフィリエイトネットワーク ▶ フォーイット

5Gマーケティングを意識したサービスの拡充やインフルエンサーズマーケティングの拡大を図る	web3を視野に入れたインターネットマーケティングやアドテクノロジー関連事業の推進	+	クリエイター/インフルエンサーが大手プラットフォームを介さずに自ら情報発信し、その価値を最大化できるクリエイタープラットフォーム「StandAlone」を展開
--	---	---	---

企業・クリエイター5G DX支援事業

5G時代のモノづくりを、企業だけでなく、クリエイターやインフルエンサーに寄り添って、独自のDX手法によりプラットフォーム構築を支援していきます。



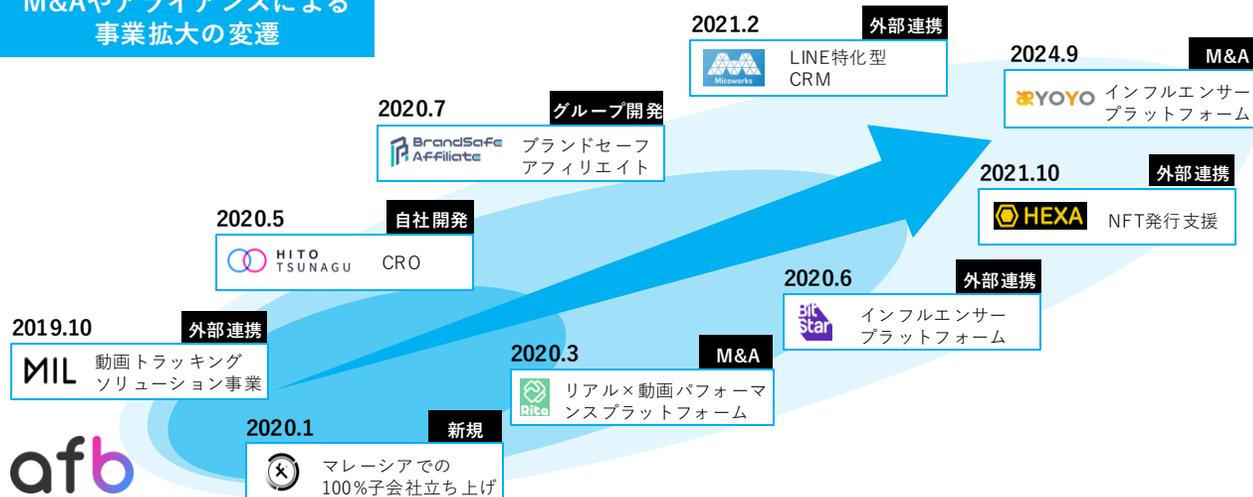
Highlight Technology パフォーマンステクノロジーネットワーク / ASP



- フォーイットが運営する成果報酬型のアフィリエイト・サービス「afb」は「顧客第一主義」を掲げ、パートナーへの支払いサイクルは業界最速
- 「アフィリエイト・プログラムに関する意識調査2023」における利用者満足度において、高収入パートナー(月50万円以上の収入)からの満足度、12年連続でNo.1を獲得しています

出所 「アフィリエイト・プログラムに関する意識調査2023」 <https://affiliate-marketing.jp/release/202306.pdf>

M&Aやアライアンスによる事業拡大の変遷



サステナビリティ基本方針とマテリアリティ

企業理念=パーパス

Being The NET Frontier !

Internetをひろげ、社会に貢献する

フリービットは、自らの利益を追求するだけでなく、インターネットをひろげることで社会に貢献する企業でありたいと考え、「Being The NET Frontier !」を企業理念として掲げています。

そしてそれは、持続可能な社会を創っていくための「パーパス」でもあります。

高度な技術革新により、様々な領域で数多くの社会問題を解決するソリューションの開発/提供を通じて、社会に貢献する企業として、Internetをひろげ、社会に貢献するという企業理念=パーパスのもと、社会インフラとしてのインターネットの新たな「価値」の創造を目指してまいります。

パーパスを実現するために

フリービットグループは、地球環境、高齢化社会、知の爆発といった社会問題の解決を中期経営計画である『SiLK VISION』の根幹に位置付け、誰もが安心して利用できる社会インフラとしてのインターネット「Trusted Web」を基盤としたインターネットプラットフォームを作り出すことで、当社グループの継続的価値を生み出して社会に貢献してまいります。

Materiality

重要課題

当社では、企業理念に基づき、社会インフラとしてのインターネットの新たな「価値」の創造を目指す、というパーパス（基本理念）に基づき、ESGやSDGsの視点を取り入れ注力する4つの領域でマテリアリティを設定しました。

Human resources

P.22-25

多様な人材によるサクセッションプラン

- 女性の活躍機会の促進
- ライフステージにキャリアが左右されない柔軟な制度の導入
- 外国人、若手人材のマネジメント層への積極登用
- DX人材の採用、育成、定着



Environment/Social

P.33-35

地球環境・少子高齢化社会への対応

- 気候変動への対応
- 地球環境改善への貢献
- ITを駆使した社会課題の解決
- 社会情勢・ライフスタイルの変化に応じたITサービスの提供



Governance

P.36-38

ガバナンス体制

- インターネットガバナンス
- コンプライアンス
- リスクマネジメント



Business

持続的成長を目指す事業基盤

- 安定した品質によるインフラ基盤の提供
- 技術革新への継続的な取り組み
- デジタル社会をサポートするITシステムの開発
- グループシナジーによる新事業基盤の創出
- 環境負荷が極めて低く継続性が高い、ブロックチェーン技術の開発
- 企業だけでなく、多彩な個人の支援



freebit groupのESG 経営

Environment

環境

DX化の拡大や大規模言語モデルの進展などにより、運用されるサーバーの消費電力は益々増大することが予想されます。当社グループは気候変動リスクに対し、環境の負荷低減につなげるためのネットワーク設備の更新や、業務などのDX促進の過程において生産性の向上を図るとともに環境への負荷軽減を行うなど、省電力化、省エネ化、カーボンオフセットなどの取り組みについてより一層努めてまいります。

地球環境に配慮した事業展開

Full Speed
GIGA PRIZE

サーバーの仮想化（クラウド）によるエネルギー削減

サーバーの仮想化（クラウド）を積極的に進めております。この技術革新により、物理的なサーバー台数を削減し、エネルギー消費を大幅に減少させることに成功しました。仮想化技術の導入は、データ処理能力を維持しつつも、エネルギー効率の最適化を図ることを可能にし、CO2排出量の削減にも寄与しております。



freebit

データセンター移設統合によるエネルギー削減

データセンターの移設及び統合プロジェクトを推進しております。この取り組みにより、最新の省電力技術を活用した設備への更新と、運用効率の最適化を実現しました。その結果、省エネ化を大幅に進めることができ、CO2排出量の削減にも成功しております。



独自のブロックチェーン技術による環境負荷低減への取り組み

当社は独自のモバイルL1ブロックチェーン「TONE Chain」を開発し、スマートフォンの充電時に生じる余剰リソースを活用することで、従来のブロックチェーン技術とは異なり、大規模なコンピューターリソースを必要としない、効率的かつ低負荷なブロックチェーン技術の実現に成功しました。この革新的な技術により、従来のブロックチェーンのシーリング（採掘）と比較して環境負荷を著しく低減し、持続可能なデジタル社会の構築に貢献しております。さらに、TONE Chainの仕組みによってエネルギー消費の削減と、CO2排出量の低減を図ることで、環境への影響を最小限に抑えることが可能となりました。このような当社独自の技術開発は、環境保護とデジタル社会の発展を両立させる新たな一歩であり、より多くの人々が安心して利用できる持続可能なブロックチェーンエコシステムの普及にも貢献しております。

freebit



TONE Chain
ノード数世界第3位規模
のL1 Blockchain



freebit web3 Blocks
(Powered by CountUp)

freebit groupのESG 経営

Social

社会

当社グループは、自らの利益を追求するだけでなく、「Being The NET Frontier! Internetをひろげ、社会に貢献する」ことを企業理念に掲げ、高度な技術革新により、様々な領域で数多くの社会問題を解決するソリューションを開発/提供していきます。当社グループが有する高度な技術力とサービス開発力を軸として、地方や途上国における雇用機会の創出などを推進しております。

社会情勢・ライフスタイルの変化に応じた取り組み

GIGA PRIZE

複合型商業施設「LIVINGTOWN みなとみらい」の運営

同施設では、5GやIoTなどの次世代通信技術を活用したスマートホーム体験を提供し、スマートタウン実現に向けた実証検証を進めております。この取り組みにより、持続可能な生活環境の創出を目指し、エネルギー効率の高い未来型住宅の開発や、都市部における質の高い生活基盤の構築を推進してまいります。これらの実証実験は、サステナブルな社会への貢献だけでなく、テクノロジーがもたらす新しい生活様式の可能性を探る重要な一歩にもなり得ます。



職場受け取り運動

ECの利用拡大と宅配業界の人手不足が引き起こす配達員の過剰な負荷という社会問題に対応しております。具体的には、職場での荷物受け取り運動を推進し、社員がオフィスで直接荷物を受け取ることで、再配達を大幅に削減し、効率的な配送プロセスの実現に貢献しています。この取り組みにより、宅配業界の持続可能性を支え、配達員の負担軽減に努めることで、より良い労働環境の実現を目指しております。

FORIT



freebit



「One Vision」を通じたステークホルダー資本主義の実装

web3によるステークホルダーコミュニティ実証実験「One Vision」は、ステークホルダー資本主義の理念に基づき、web3時代の新たなステークホルダー還元モデルを探求しております。このプロジェクトでは、「TONE Chain」を使ったブロックチェーンネットワークの運営により、顧客、株主、従業員が一つのビジョンを共有する非中央集権的コミュニティの形成を目指しております。全ステークホルダーが相互に連携し、ともに成長する持続可能なエコシステムを構築することで、社会全体の発展に貢献するユースケースになることを企図しております。

GIGA PRIZE



一般社団法人集合住宅デジタル高度化協議会に参画

同協議会への参画を通じて、集合住宅のデジタル環境高度化を推進しています。現代社会においてインターネット環境は生活必需品となり、特に集合住宅では選択肢の限られる通信環境がデジタルディバイドを引き起こす原因となっています。同協議会の活動に参加することで、テレワークや遠隔授業などの新しい生活様式に対応する高品質なインターネット環境を、あらゆる集合住宅に提供することを目指しています。これにより、社会全体の情報通信インフラの向上に寄与してまいります。

freebit groupのESG 経営

Social / 社会

ITを駆使した社会課題の解決

freebit

誰でも安心して使える“やさしいスマホ”

トーンモバイル事業において、誰でも安心して使用できる“やさしいスマホ”を提供しております。トーンモバイルは、お子様向けの見守り機能や利用制限機能に加え、シニアの方々向けに健康相談や健康管理をサポートするサービスも備え、家族全員が安全に利用できる環境を実現しております。これらの取り組みにより、社会全体のデジタルインクルージョンの推進に貢献しております。



GIGA PRIZE

糸島市営体育館でのインターネット接続環境構築

糸島市営体育館に高品質インターネット接続サービスの提供を実施いたしました。これにより、日常のスポーツ活動から災害時のコミュニケーション確保まで、地域社会安全とセキュリティの向上を実現。公共施設のデジタル化を通じて、住まいを中心とした安心できる街づくり、持続可能な社会の構築に向けた重要な取り組みの一つとして貢献しております。



社会貢献活動

freebit smart works

地方・新興国における雇用機会の創出

佐賀県唐津市にコールセンター事業所を開設し、インターネット接続事業者のコールセンター受託業務などを行っております。



Full Speed

フィリピン・セブ島にて60人以上を現地採用し、アド・テクノロジーシステムの開発業務、運用型広告の運用業務などを行っております。



FORiT

東松山市まち・ひと・しごと創生団体

2018年11月に、「東松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」への協力団体として認定を受け、事業を通じた地域発展や振興に取り組んでいます。



FORiT

NFTを活用した地方創生企業への出資

日本最大級のWEB3.0型NFTマーケット「HEXA（ヘキサ）」の運営会社に出資。デジタル住民票NFTをヘキサで販売することで、WEB3.0型の関係住民創出により地方創生の活動を行っています。



freebit groupのESG 経営 役員紹介

Governance / ガバナンス



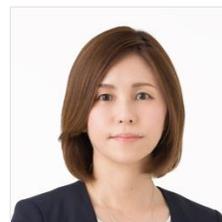
代表取締役社長
石田 宏樹



取締役副社長
清水 高



取締役
友松 功一



取締役
和田 育子



常勤監査役
篠 秀一



常勤社外監査役
松岡 彰洋



社外取締役
米谷 信彦



社外取締役
竹田 青滋



社外取締役
土岐 英秋



社外監査役
山口 勝之



社外監査役
矢田堀 浩明

スキルマトリクス	地位・役職など	ジェンダー	社外性	企業経営に関する知見	業界知見			マーケティングに関する知見	国際性に関する知見	労務人事に関する知見	財務会計に関する知見	法務・ガバナンスに関する知見	専門性
					5Gインフラ支援	5G生活様式支援	企業・クリエイター 5G DX支援						業務関連性のある資格
取締役会	石田 宏樹	代表取締役社長 CEO兼CTO	男性	●	●	●	●	●	●				
	清水 高	取締役副社長 CFO	男性		●	●				●		●	
	友松 功一	取締役CHRO	男性				●			●			
	和田 育子	取締役CSO	女性					●		●	●	●	
	米谷 信彦	社外取締役	男性	●	●	●		●	●	●	●	●	
	竹田 青滋	社外取締役	男性	●	●	●		●	●	●	●	●	
監査役会	土岐 英秋	社外取締役	男性	●				●	●	●			
	篠 秀一	常勤監査役	男性	●						●		●	
	松岡 彰洋	常勤社外監査役	男性	●	●					●		●	
	山口 勝之	社外監査役	男性	●	●				●			●	弁護士
	矢田堀 浩明	社外監査役	男性	●						●		●	公認会計士
	合計		6	6	5	5	3	4	4	4	6	7	

上記は、各人のすべてのスキル・経験・能力・その他の知見や素養を表しているものではありません。各項目の「経験」は該当する業務や役職に、原則として通算3年以上従事したものを指します。

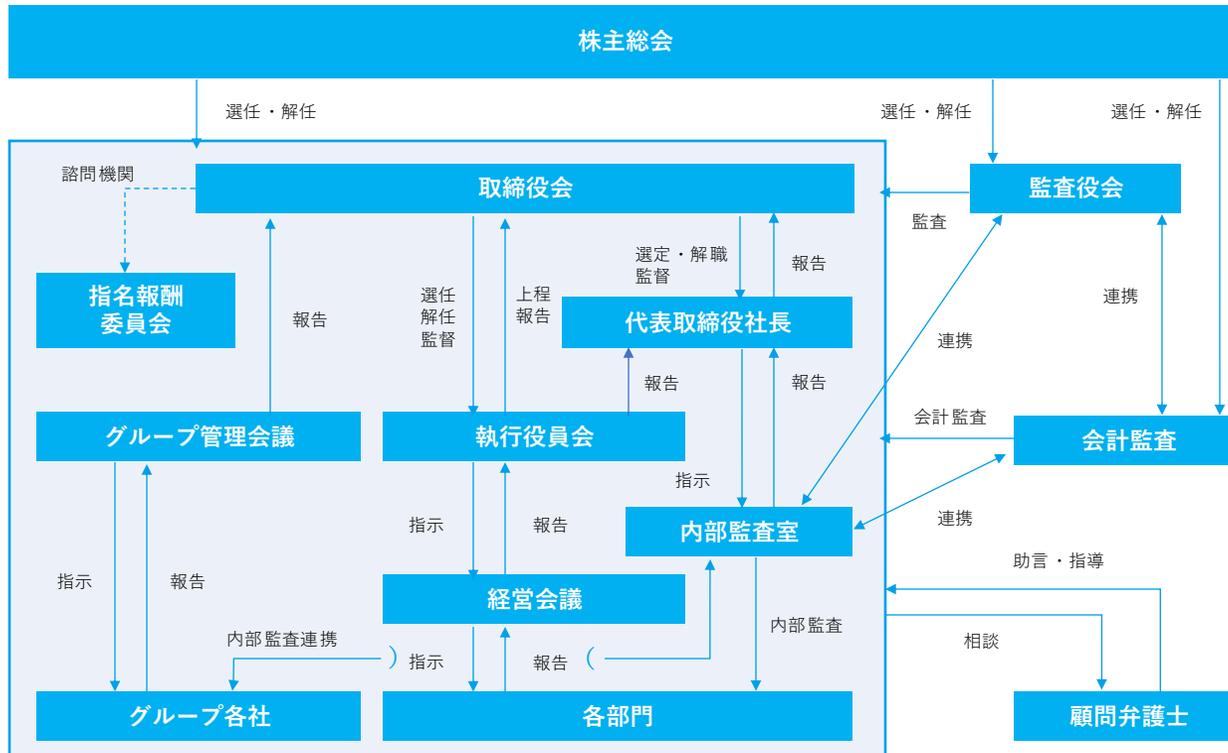
freebit groupのESG 経営

コーポレートガバナンス

基本的な考え方

当社グループは、高度な技術力とサービス開発力を軸として、魅力ある価値創造企業を目指しております。また、企業価値の最大化を図り、企業の社会的責任を果たしていくためには、透明性が高く環境の変化に迅速に対応できる経営体制の確立とコンプライアンス遵守の経営を追求することが不可欠であると考えており、コーポレートガバナンス体制の充実を経営の最重要課題と位置付けて積極的に取り組んでまいります。

体制図



機関設計

取締役会

取締役会は、取締役7名（内3名は社外取締役）で構成されており、月に1度の開催を定例としつつ必要に応じ随時開催し、広い見地からの意思決定、業務執行の監督を行っています。また法令・定款・取締役会規則に定める事項のほか幅広く報告し議論し決議しています。なお、取締役会には監査役も出席し、取締役の業務執行について監査を行っています。

監査役会

監査役会は、常勤監査役2名、非常勤監査役2名で構成されており、月に1度開催しています。各監査役は、監査役会で策定した年間監査計画に基づき重要な会議に出席する他、業務及び各種書類や証憑の調査を通じ取締役の業務執行を監査しております。なお、監査役、内部監査室及び会計監査人は、情報交換、意見交換を行うなどの連携により、監査機能の向上に努めています。

指名報酬委員会

指名報酬委員会は、代表取締役、取締役の指名及び報酬に関する手続きの公正性・透明性・客観性を強化し、コーポレート・ガバナンスの充実を図ることを目的に、代表取締役1名、独立社外取締役2名以上を含む委員3名以上で構成されており、取締役会の諮問機関として設置されています。同委員会は、取締役会の諮問に応じて、取締役の選解任や報酬などに関する事項について審議し、取締役会に対して答申を行います。

freebit groupのESG 経営

取締役の選解任と手続き

株主総会に諮る候補者の指名を行うにあたっては、指名報酬委員会の答申内容を尊重し、当社の企業価値向上に資することが期待できる人材を社内外から選出し、取締役会において決定します。解任にあたっては、会社法上の欠格事由に該当した場合のほか、その他法令や上場制度、当社定款などの定め反する場合、職務執行に不正があった場合に取締役会で審議の上、決定もしくは株主総会に解任議案を上程します。

取締役会の実効性評価

当社は、毎年全役員を対象に外部機関による取締役会の実効性に関する個別アンケートを実施し、その集計を基に分析・評価を行っています。その結果、当社取締役会は概ね適切に機能しており、実効性が確保されていることを確認しましたが、特に経営陣幹部の育成に関して重要な課題と指摘されました。また、サステナビリティや人的資本経営に関する審議機会が不足していたという指摘もあり、ステークホルダーや資本市場の要請に応えるために議論を深める必要があると分析しています。新たに認識された課題については、アクションプランの検討及び実施に取り組んでまいります。

役員報酬を決定するに当たっての方針と手続

当社の取締役の報酬は、当社が持続的な企業成長を図っていくにあたり、将来を見据えた後継者育成計画の重要性を踏まえ、そのための候補人材を人種や国籍、性別、年齢などに左右されることなくあらかじめ確保するとともに、適切な時間と資源をかけて育成し経営者として必要な資質を備えさせていくことが不可欠であり、また、企業規模拡大を担う次代の経営人材層を厚くしていくことで、ひいては当社の中長期的な企業価値向上に資することになるとの認識のもと、インセンティブとして十分に機能するよう、個々の取締役の報酬の決定に際しては役位、職責、在任年数、貢献度などを踏まえた適正な水準とすることを基本方針とし、基本報酬としての固定報酬及び株主価値との連動性をより重視した株式報酬から構成され、取締役会の決議により決定しています。

種類別の報酬割合については、当社と同様の業態に属する企業の報酬水準などを踏まえ、当社の特性を考慮した上で、基本報酬額をベースとして定め、その役位・職責などを考慮して、業績連動報酬及び非金銭報酬などの割合について、指名報酬委員会にて検討を行うものとしています。取締役会は、指名報酬委員会の答申内容を尊重し、取締役の種類別の報酬割合を決定することとしています。

役員報酬の種類、概要

<p>① 基本報酬</p>	<p>月例の固定報酬とし、株主総会で決議された報酬限度額の範囲内で、役位、職責、在任年数、貢献度などに応じて総合的に勘案して決定しています。</p>
<p>② 業績連動型譲渡制限付株式報酬</p>	<p>当社の中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをより強化し、株主との一層の価値共有を進めることを目的として、当社取締役会であらかじめ設定する評価期間・業績評価指標の達成度に応じて交付する業績連動型譲渡制限付株式を付与するものとし、各取締役への具体的な付与数は役位、職責、貢献度などに応じて決定し、原則として評価期間終了後に付与しています。</p>
<p>③ 業績連動型譲渡制限付株式以外の非金銭報酬</p>	<p>当社の中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをより強化し、株主との一層の価値共有を進めることを目的として、当社取締役会においてその要件、付与数の算定方法、交付時期などを決定した上で一定期間継続して当社の取締役などを務めることを条件に譲渡制限を解除することなどを定める勤務継続型譲渡制限付株式を付与するものとし、各取締役への具体的な付与数は役位、職責、貢献度などに応じて決定しています。</p>

財務 / 非財務ハイライト

(百万円)

10カ年財務サマリー		15/4	16/4	17/4	18/4	19/4	20/4	21/4	22/4	23/4	24/4
業績状況	売上高	21,469	28,389	35,222	38,653	50,365	55,295	52,009	43,075	46,771	53,037
	営業利益	1,244	1,902	1,321	1,851	2,981	2,587	3,403	3,165	4,007	5,887
	経常利益	982	1,322	807	1,426	2,569	2,481	3,661	2,878	3,707	5,756
	親会社株主に帰属する当期純利益	1,025	553	△150	△567	279	△619	1,586	827	1,792	3,566
	売上高営業利益率 (%)	5.8	6.7	3.8	4.8	5.9	4.7	6.5	7.3	8.6	11.1
	総資産経常利益率 (ROA) (%)	5.4	6.4	3.4	5.1	7.3	6.1	9.5	8.2	10.4	15.5
	自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	12.9	5.6	△1.5	△6.1	3.1	△7.3	18.9	10.6	23.7	35.9
財政状況	総資産	19,323	21,931	25,597	30,796	39,164	42,472	34,835	35,050	35,926	38,183
	純資産	10,654	11,164	11,251	10,675	11,308	10,848	12,148	11,039	11,032	15,196
	自己資本比率 (%)	50.9	45.5	37.7	28.8	23.0	19.0	25.0	19.6	22.9	30.5
キャッシュ・フロー	営業活動によるキャッシュ・フロー	2,207	1,751	3,811	1,030	3,182	1,480	7,122	2,333	3,322	4,225
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△524	△508	△2,291	△2,140	△3,688	△1,870	△2,655	510	△644	△1,085
	財務活動によるキャッシュ・フロー	585	△306	844	4,504	2,320	625	△2,571	△2,731	△2,110	△2,720
1株当たり指標	1株当たり当期純利益 (円)	51.40	24.75	△6.77	△25.56	12.59	△27.93	74.06	41.86	95.07	178.58
	1株当たり純資産 (円)	436.56	449.30	434.70	399.88	405.57	368.19	415.12	366.01	412.94	582.26
	1株当たり配当金 (円)	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.50	8.00	27.00
	配当性向 (%)	13.6	28.3	-	-	55.6	-	9.5	17.9	8.4	15.1

非財務サマリー	23/4	24/4
従業員数 (人)	913	884
女性社員比率 (%)	34.7	34.5
女性管理職比率 (%)	14.3	13.6
女性の育児休暇取得者数 (人)	5	7
女性の育児休暇復帰率 (%)	100.0	100.0

非財務サマリー	23/4	24/4
有給取得率 (%)	84.6	82.8
平均年齢 (歳)	40.2	41.0
平均勤続年数 (年)	6.7	7.6
平均年収 (万円)	633	619
外国人従業員数 (人)	13	12

※フリービット (株) 及び連結子会社が対象、4月30日に終了した各連結会計年度の数値

※2024年4月期において、連結子会社である (株) ギガプライズ及びその子会社は決算日を3月31日から4月30日に変更したため、2023年4月1日から2024年4月30日までの13ヶ月が連結対象期間となる

※非財務サマリーに掲載の数値は従業員数を除き、いずれもフリービット (株) 単体の数値

会社概要

会社情報

商号	フリービット株式会社 (FreeBit Co., Ltd.)
設立	2000年5月1日
上場市場	東京証券取引所プライム市場
証券コード	3843
資本金	45億14百万円 (2024年4月30日現在)
従業員数	単体: 260名/連結: 884名 (2024年4月30日現在)
事業年度	5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	7月中
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
本社所在地	東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー

主要グループ企業

 株式会社フルスピード 運用型広告サービス、インターネットマーケティング事業、 クリエイター向け支援プラットフォーム http://www.fullspeed.co.jp/	 株式会社ギガプライズ 集合住宅向けインターネット関連サービス https://www.gigaprize.co.jp/
 株式会社フォーイット アフィリエイト広告サービス https://www.for-it.co.jp/	 株式会社ソフト・ボランテ 不動産管理ソフト http://s-volante.co.jp/
 株式会社クライド アドテクノロジー事業、デジタルサイネージ事業 https://www.craid-in.co.jp/	 株式会社ギガテック マンションインターネット工事施工サービス https://www.giga-tech.co.jp/
 株式会社ジョブロード 東南アジア諸国の外国人材の日本語教育、 就職支援・転職支援など人材サービス https://jobroad.co.jp/	 株式会社ドリーム・トレイン・インターネット 個人向けインターネット関連サービス https://www.dti.co.jp/
 Rita株式会社 Oto O動画広告プラットフォーム、 CPI/CPEネットワークの開発・運用 https://rita-in.co.jp/	 株式会社ベッコアメ・インターネット データセンター関連サービス https://www.bekkoame.co.jp/
 フリービットインベストメント株式会社 新規事業等への投資など https://fbinvest.co.jp/	 フリービットスマートワークス株式会社 コールセンターの受託 https://freebit.com/freebitsmartworks/

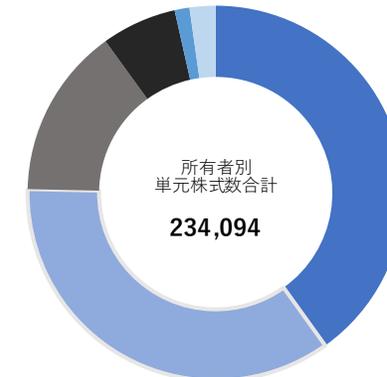
株式情報

株式・株主の状況 (2024年4月30日現在)

発行可能株式総数	52,473,600株
発行済株式の総数	23,414,000株
株主数	6,218名

個人・その他:	40.11%
その他の法人:	35.23%
自己名義株式:	14.70%
金融機関:	6.45%
金融商品取引業者:	1.28%
外国法人等:	2.23%

所有者別株式分布状況 (単元株式比率)



大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
石田 宏樹	3,519,700	17.62
アルプスアルパイン株式会社	3,510,600	17.58
株式会社UH Partners 2	1,893,000	9.48
光通信株式会社	1,441,700	7.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	891,400	4.46
株式会社UH Partners 3	701,300	3.51
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	491,100	2.45
株式会社オービックビジネスコンサルタント	450,000	2.25
村井 純	288,000	1.44
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	156,108	0.78

※当社は、自己株式を3,441,941株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

お問い合わせ先

フリービット株式会社 グループ経営企画本部 IR担当

✉ freebit-ir@freebit.net

🌐 <https://freebit.com/>

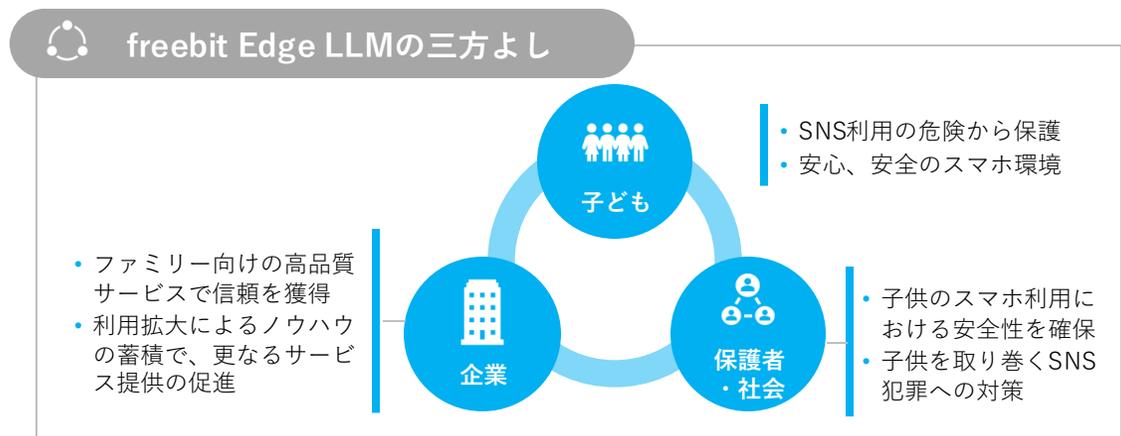
web3社会実装の事例 – freebit Edge LLM

生成AIの取り組みとしてfreebit Edge LLMを開発

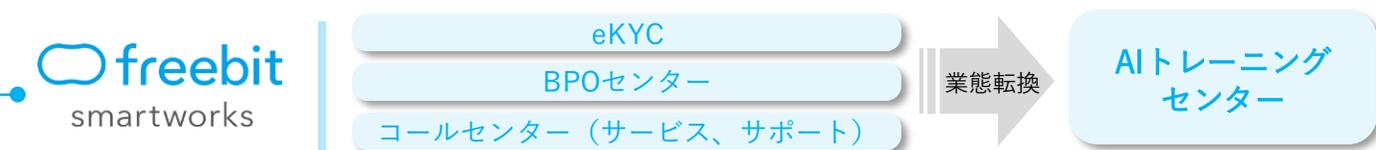
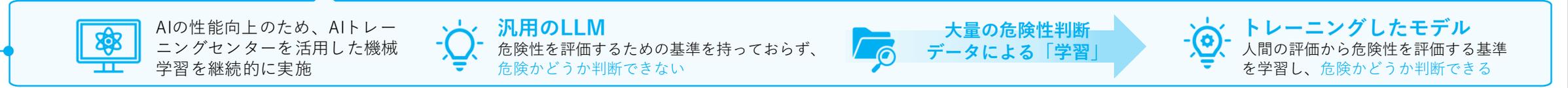
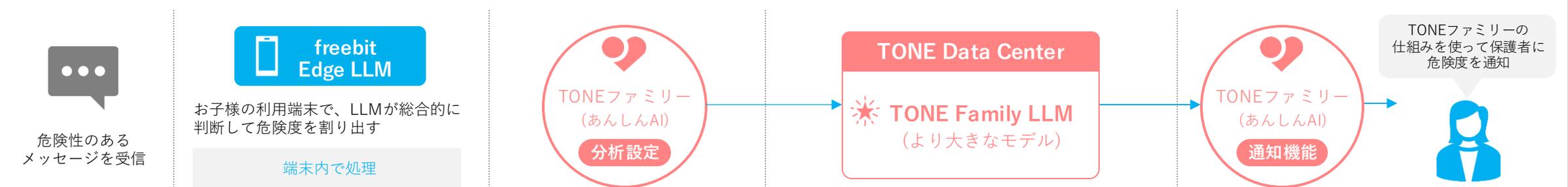
- 大規模言語モデル (LLM) は、消費電力が大きいことや、データの漏洩や不正アクセスのリスクが存在し、セキュリティ面やプライバシー面での懸念といった課題がある

フリービットは、スマートフォンを使った電力消費が少なくデータがスマートフォンの外にいかない※1安心・安全なLLMを自社開発。トーンモバイルの既存サービスと連携し、子供のSNS利用における危険度をAIが判断※2し、保護者に通知するシステムを構築する予定です。

- AIの機能を進化させるため、AIトレーニングセンターにて日々機械学習を実施。また「freebit Edge LLM」は外部のLLMと連携し、より機能を拡張することも可能



freebit Edge LLMのスキーム – 外部の大規模言語モデルと連携してより詳細な回答を生成するモデル (保護者が設定)



※1 データがスマートフォンの外にいかないメッセージが危険と判断された場合、その判定結果 (当該メッセージを含みます。) を保護者に通知します。通知された判定結果は保護者が自ら削除するまで、フリービットグループの契約するサーバー上に保存されます。

※2 危険度をAIが判断「freebit Edge LLM」による判定はあくまでAIが独自に算出したものであり、危険度やその判定の正確性、判定結果等を保証するものではありません。AIの判定結果には、学習データに基づくバイアスやハルシネーション等の可能性があります。

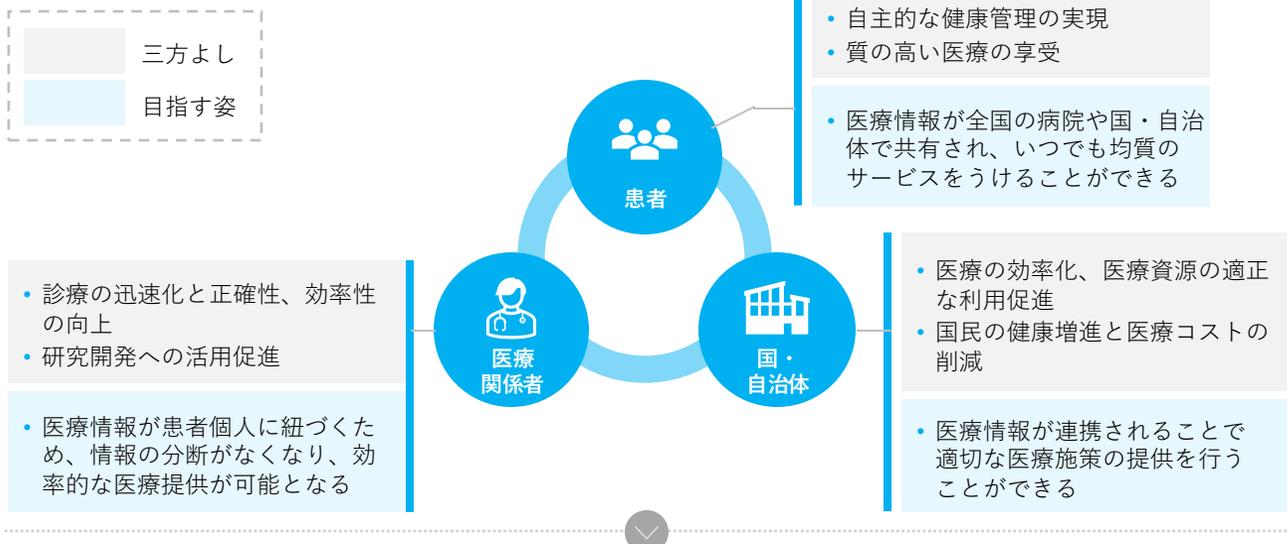
web3社会実装の事例 – 医療情報の連携基盤

web3による医療DX / Trusted Webの社会実装 「藤田医科大学病院との共同研究開発プロジェクト」

👍 医療の三方よし / 共同研究開発の目指す姿

- 藤田医科大学病院と共同で進めている、医療ビッグデータ (RWD) を活用するプラットフォームを構築し、サービス化するプロジェクト
- 「医療DX令和ビジョン2030」の指針に沿って医療サービスのデジタル化を目指している

- 詳細**
- 国が推進する「Trusted Web」の概念とweb3技術に基づく分散型ID (DID) を活用した、患者主権型で医療情報の持ち運びが可能なシステムの開発を行っていく
 - プライバシー侵害などのリスクを低減しながら、データや取引の信頼性を高め、安全かつ自由に管理・共有することを目指す



🔍 web3技術を活用し、患者個人、病院や研究機関、国や自治体の間で医療情報をセキュアかつ便利に連携できることを目指します

活用例

- web3技術を活用した医療データ管理システム
- マイナンバーを活用した共同ID

★ 共同研究開発がもたらす効果

- web3をはじめとした技術と藤田医科大学病院が持つ豊富な医療データを組み合わせることで、革新的な医療データ管理システムを構築
- 自分の医療情報を管理できるようになり、過去の治療歴や診断結果などの情報を各医療機関へ共有することで、診療の効率と質が向上

PoC (概念実証) 1の実施



藤田医科大
PHR※アプリ

処方内容

検査結果



- 当社が開発したTrusted Web構造のPHRアプリをTONE端末とセットで貸与
- 患者のご自宅で医療データを実際に見ていただく

- 医療リソースの不足や合理化などの課題解決にもつなげていく
- デジタル技術活用により、医療の質向上だけでなくコスト削減にも寄与

患者、医療機関、国・自治体など多くのステークホルダーにとってメリットが大きく、今後の医療分野の発展にフリービットグループは大きく貢献していく

web3社会実装の事例 – StandAlone

web3によるクリエイターのためのオリジナルコミュニティアプリ「StandAlone」

StandAloneの三方よし / 目指す姿

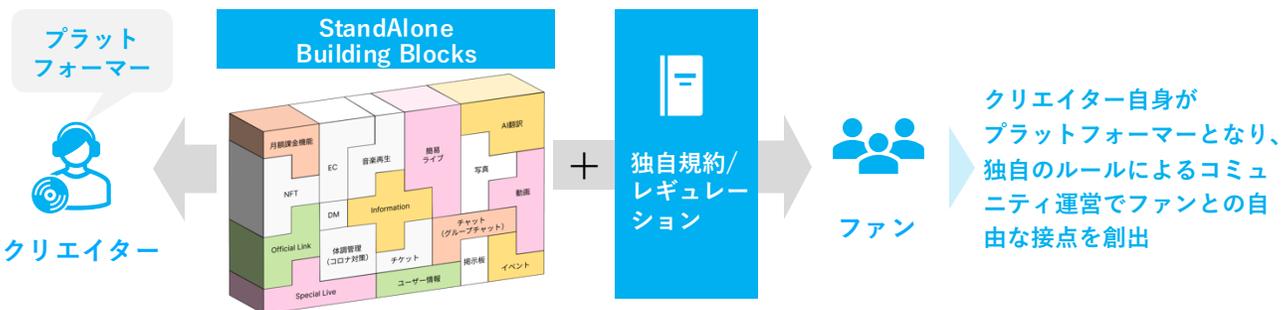
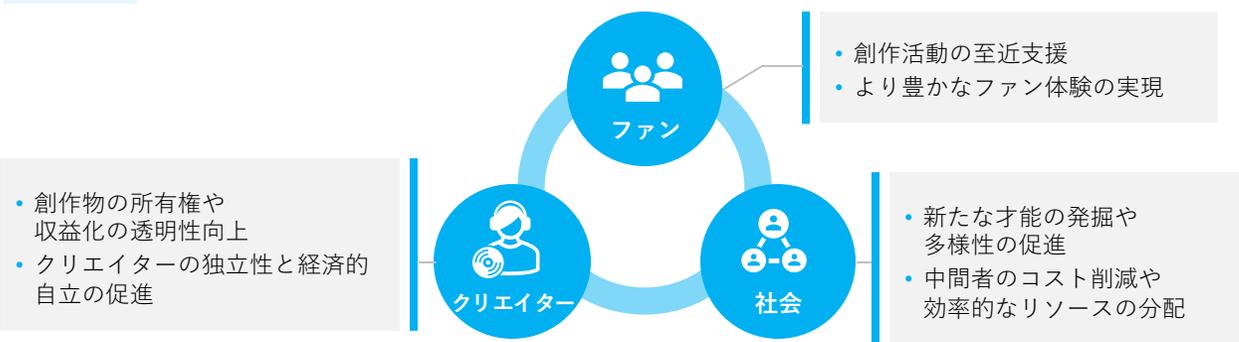
- 「StandAlone」は、クリエイターとファンとの直接的な関係を深めることを通じて、新たなクリエイティブエコシステムを構築することが目的



web3化

- クリエイター** | 自身の作品とその収益に対して完全なコントロールができる
- ファン** | クリエイターを支援するために、より大きな貢献を果たすことが可能

▶ より安全かつ使いやすいプラットフォームの構築、活気あるDAOコミュニティの育成に注力していく



今後の展開

StandAlone



短期

- web3とDAOの基盤を構築、パイロットプロジェクトとしてクリエイターとファン向けのDAOを形成し、システムの改善と拡張を図る
- クリエイターとファンにweb3やDAOの概念を理解してもらうプログラムとDAO参加者のサポート体制を整える



長期

- グローバルクリエイターが世界中のファンとつながるため、AI翻訳の機能拡充などによりコミュニティの国内外への拡大を支援し、クリエイターとファン向けに多様なサービスをグローバル展開

▶ クリエイターの活動を世界規模で支援し、クリエイターが直接発信することを可能とするB2C2C (Business to Creator to Consumer) のサービスを通し、グローバルにも通ずる社会課題の解決を目指す

■展開中のStandAlone一覧



■グローバルクリエイター支援/web3

web3技術などを含めたITプラットフォームの提供/開発で全面支援するための提携として、Dean Fujioka (ディーン・フジオカ) 氏のファンコミュニティ「FamBam」において、「世界中のファンと直接つながる」ことを目指しアプリをリリース

今後はweb3型の相互貢献的な仕組みやAI技術により多様な個人のつながりをサポートすると同時にweb3技術やBlockchain技術が「信用」を与え自律的に発展していく仕組みを展開していく